

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料目次）

(資料 1)

「リクルート進学総研「マーケットレポート」 - 「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向」

(資料 2)

「Press Release 「AIの将来への影響」 編」

(資料 3)

「九州女子大学令和5（2023）年度新設3学科 家政学部「生活デザイン学科（仮称）」人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」人間科学部「心理・文化学科（仮称）」学生確保の見通し調査（設置構想についての高校生アンケート調査）報告書」

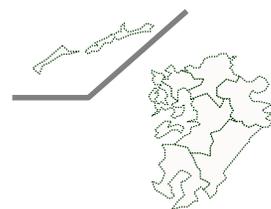
(資料 4)

「九州女子大学令和5（2023）年度新設3学科 家政学部「生活デザイン学科（仮称）」人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」人間科学部「心理・文化学科（仮称）」人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書」

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

九州沖縄版

- 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県 -



【将来予測 2020～2032年】

▶ 18歳人口予測 P2～P4

- ・ 2020年141,187人→2032年131,637人（9,550人減少）
- ・ 減少率が高いのは、佐賀県（2020年比較15.7%減少）。
- ・ 減少数が多いのは、長崎県（2020年13,387人→2032年11,431人、1,956人減少）。

【経過推移 2011～2020年】

▶ 進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

進学者数

- ・ 大学は、2011年52,145人→2020年51,973人（172人減少）と、0.3%減少。
- ・ 短期大学は、2011年8,048人→2020年6,127人（1,921人減少）と、23.9%減少。
- ・ 専門学校は、2011年24,991人→2020年23,856人（1,135人減少）と、4.5%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年38.4%→2020年41.3%（2.9ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年5.9%→2020年4.9%（1.0ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年18.4%→2020年18.9%（0.5ポイント上昇）

▶ 地元残留率の推移 P11～P13

- ・ 大学は、2011年46.6%→2020年46.5%（0.1ポイント低下）
- ・ 短期大学は、2011年73.0%→2020年76.4%（3.4ポイント上昇）

▶ 九州沖縄エリア概要(全体：県別) P14～P17

■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数、義務教育学校卒業生数
 - ・ 中学校卒業生数=高校生+フリーター+就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。（年=年度）
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業生数とは、高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ⑥ 進学率(現役)とは、進学者数(大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合(浪人含)
- ⑧ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

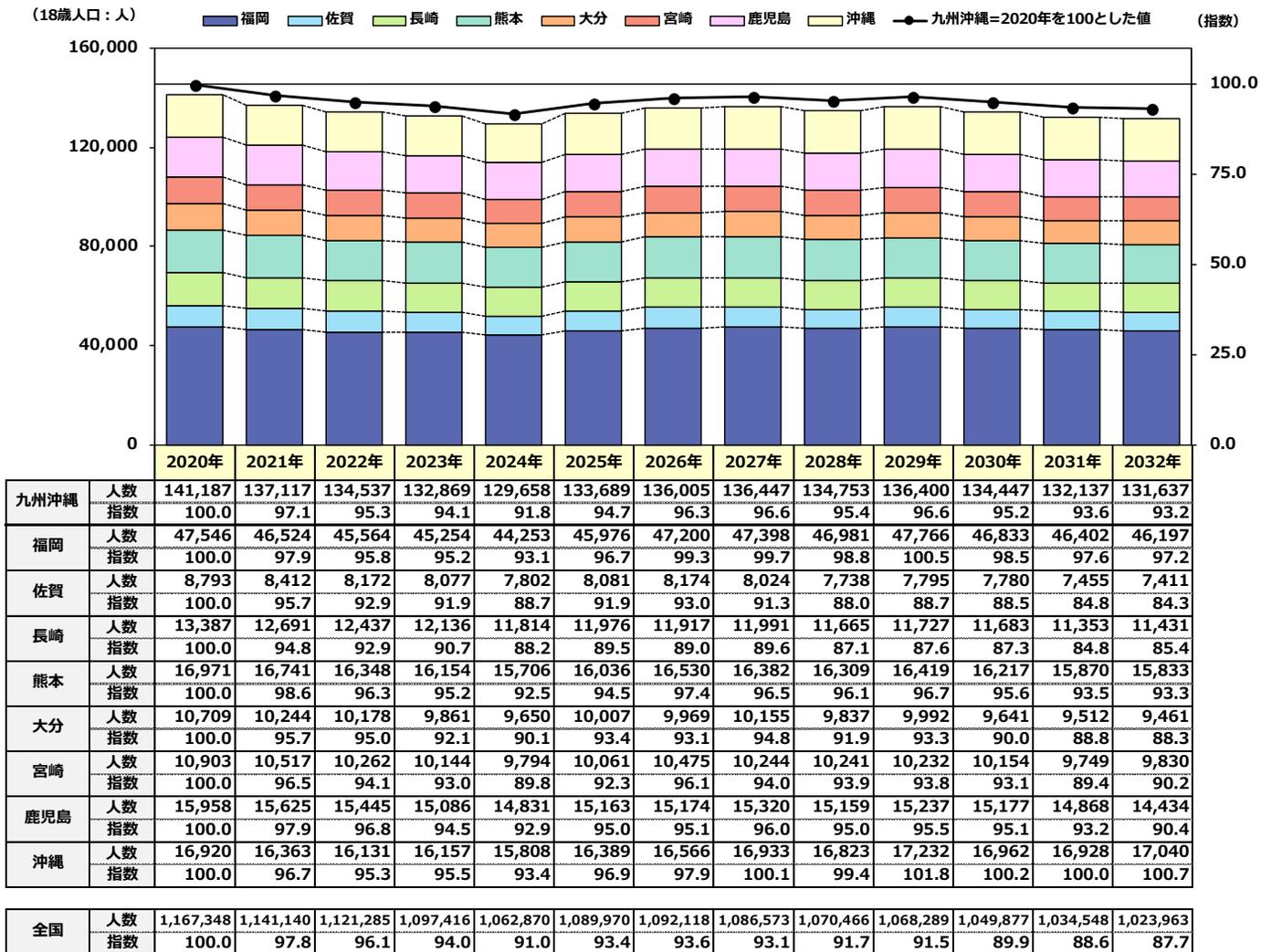
※専門学校=専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<http://souken.shingakunet.com/>

18歳人口予測（全体：九州沖縄：2020～2032年）

■ 2020年141,187人→2032年131,637人（9,550人減少）

- 九州沖縄エリアは12年間で9,550人・6.8%減少し、全国の減少率12.3%を5.5ポイント下回る。
- 2024年までに129,658人まで減少し、2027年にかけて6,789人増加した後、2032年までに再び4,810人減少。
- 減少率が高いのは、佐賀県（2020年比較15.7%減少）。
- 減少数が多いのは、長崎県（2020年13,387人→2032年11,431人、1,956人減少）。

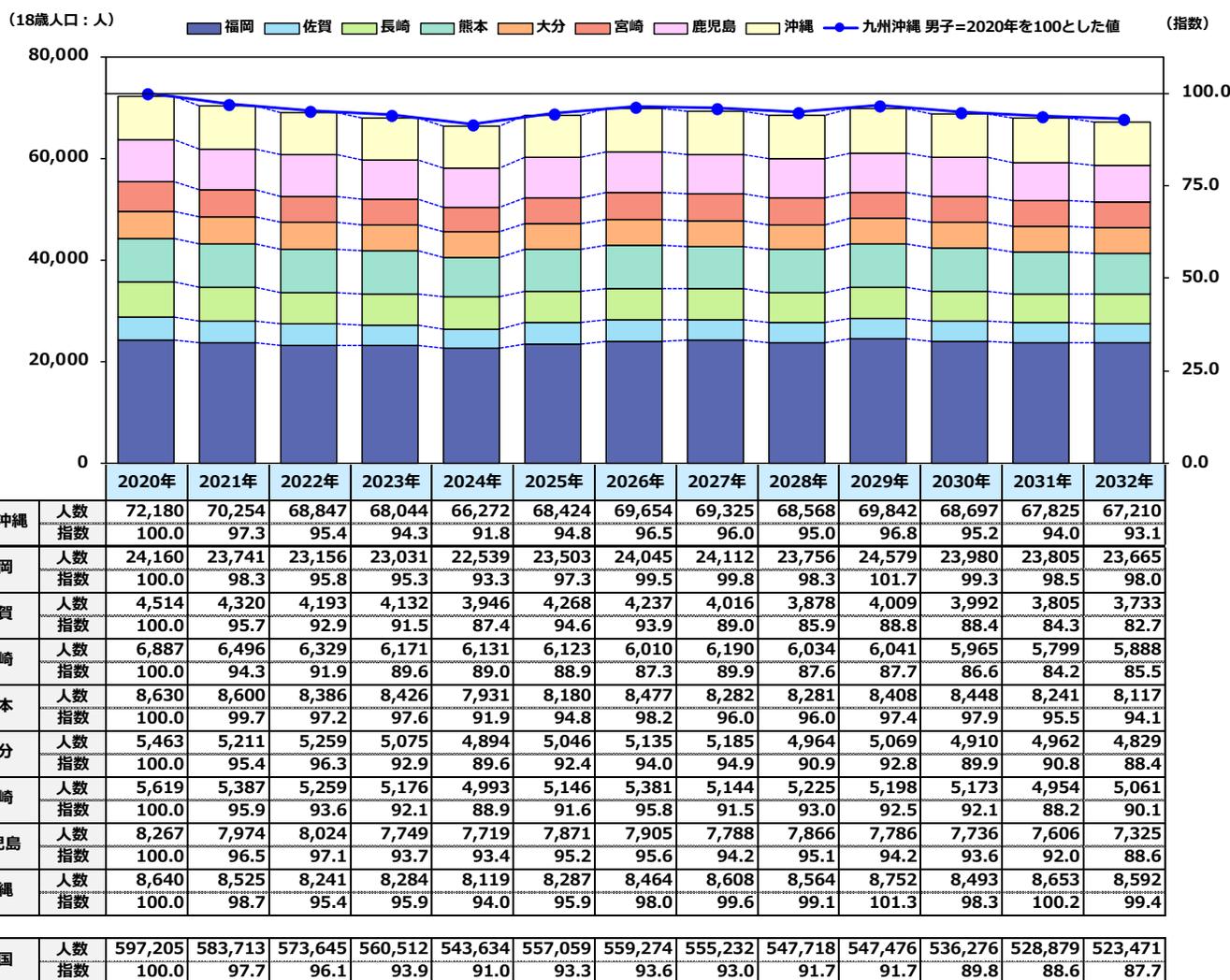


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（男子：九州沖縄：2020～2032年）

■ 2020年72,180人→2032年67,210人（4,970人減少）

- ・男子は12年間で4,970人・6.9%減少し、全国の減少率12.3%を5.4ポイント下回る。
- ・2024年に66,272人まで減少し、2026年にかけて3,382人増加した後、再び2029年微増し、その後は減少してる。
- ・減少率が高いのは、佐賀県（2020年比較17.3%減少）、次いで長崎県（2020年比較14.5%減少）。
- ・減少数が多いのは、長崎県（2020年6,887人→2032年5,888人、999人減少）。



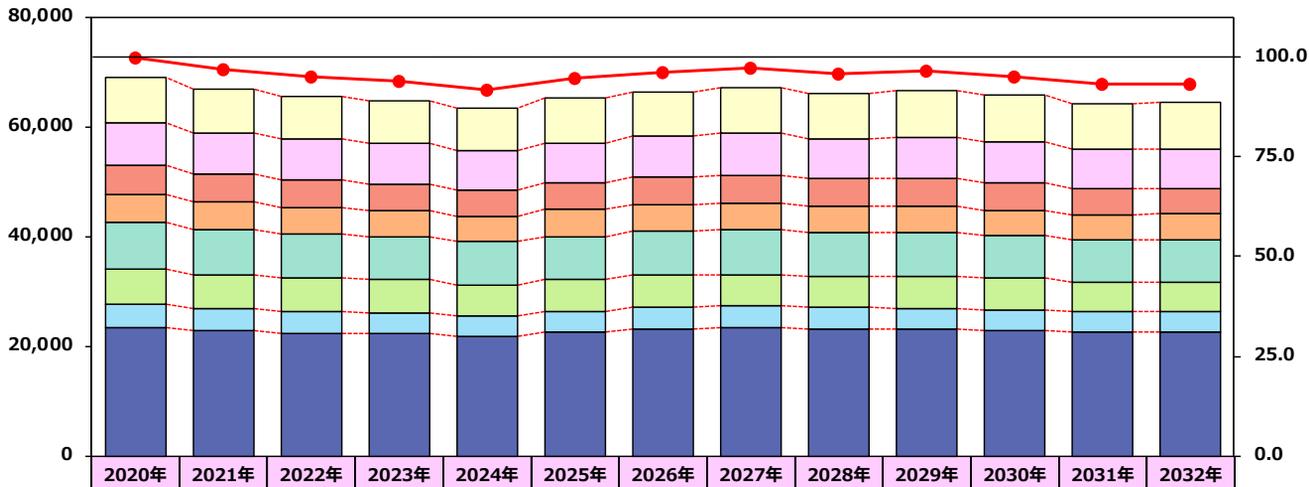
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：九州沖縄：2020～2032年）

■ 2020年69,007人→2032年64,427人（4,580人減少）

- ・女子は12年間で4,580人・6.6%減少し、全国の減少率12.2%を5.6ポイント下回る。
- ・2024年に63,386人まで減少するが、2027年に向け3,736人増加。その後は減少推移。
- ・減少率が高いのは、長崎県（2020年比較14.7%減少）。次いで、佐賀県（2020年比較14.0%減少）。
- ・減少数が多いのも、長崎県（2020年6,500人→2032年5,543人、957人減少）。

（18歳人口：人） 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄 九州沖縄女子=2020年を100とした値（指数）



		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
九州沖縄	人数	69,007	66,863	65,690	64,825	63,386	65,265	66,351	67,122	66,185	66,558	65,750	64,312	64,427
	指数	100.0	96.9	95.2	93.9	91.9	94.6	96.2	97.3	95.9	96.5	95.3	93.2	93.4
福岡	人数	23,386	22,783	22,408	22,223	21,714	22,473	23,155	23,286	23,225	23,187	22,853	22,597	22,532
	指数	100.0	97.4	95.8	95.0	92.9	96.1	99.0	99.6	99.3	99.1	97.7	96.6	96.3
佐賀	人数	4,279	4,092	3,979	3,945	3,856	3,813	3,937	4,008	3,860	3,786	3,788	3,650	3,678
	指数	100.0	95.6	93.0	92.2	90.1	89.1	92.0	93.7	90.2	88.5	88.5	85.3	86.0
長崎	人数	6,500	6,195	6,108	5,965	5,683	5,853	5,907	5,801	5,631	5,686	5,718	5,554	5,543
	指数	100.0	95.3	94.0	91.8	87.4	90.0	90.9	89.2	86.6	87.5	88.0	85.4	85.3
熊本	人数	8,341	8,141	7,962	7,728	7,775	7,856	8,053	8,100	8,028	8,011	7,769	7,629	7,716
	指数	100.0	97.6	95.5	92.7	93.2	94.2	96.5	97.1	96.2	96.0	93.1	91.5	92.5
大分	人数	5,246	5,033	4,919	4,786	4,756	4,961	4,834	4,970	4,873	4,923	4,731	4,550	4,632
	指数	100.0	95.9	93.8	91.2	90.7	94.6	92.1	94.7	92.9	93.8	90.2	86.7	88.3
宮崎	人数	5,284	5,130	5,003	4,968	4,801	4,915	5,094	5,100	5,016	5,034	4,981	4,795	4,769
	指数	100.0	97.1	94.7	94.0	90.9	93.0	96.4	96.5	94.9	95.3	94.3	90.7	90.3
鹿児島	人数	7,691	7,651	7,421	7,337	7,112	7,292	7,269	7,532	7,293	7,451	7,441	7,262	7,109
	指数	100.0	99.5	96.5	95.4	92.5	94.8	94.5	97.9	94.8	96.9	96.7	94.4	92.4
沖縄	人数	8,280	7,838	7,890	7,873	7,689	8,102	8,102	8,325	8,259	8,480	8,469	8,275	8,448
	指数	100.0	94.7	95.3	95.1	92.9	97.9	97.9	100.5	99.7	102.4	102.3	99.9	102.0
全国	人数	570,143	557,427	547,640	536,904	519,236	532,911	532,844	531,341	522,748	520,813	513,601	505,669	500,492
	指数	100.0	97.8	96.1	94.2	91.1	93.5	93.5	93.2	91.7	91.3	90.1	88.7	87.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：九州沖縄：2011～2020年）

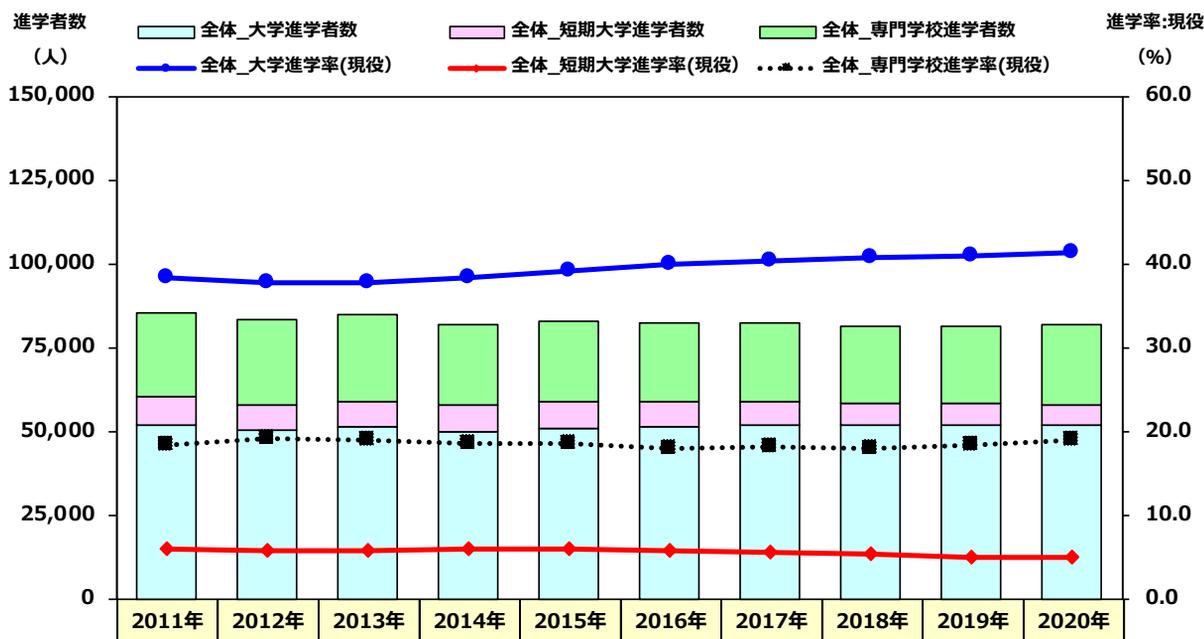
■ 10年で大学進学率が2.9ポイント上昇、大学進学者では172人減少、短期大学進学者で1,921人減少。

進学者数

- ・ 大学は、2011年52,145人→2020年51,973人（172人減少）と、0.3%減少。
- ・ 短期大学は、2011年8,048人→2020年6,127人（1,921人減少）と、23.9%減少。
- ・ 専門学校は、2011年24,991人→2020年23,856人（1,135人減少）と、4.5%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年38.4%→2020年41.3%（2.9ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年5.9%→2020年4.9%（1.0ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年18.4%→2020年18.9%（0.5ポイント上昇）



九州 沖縄	卒業生数		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
				135,785	133,308	135,923	130,284	130,536	129,144	129,078	127,067	127,129
進学者数	大学		52,145	50,384	51,275	49,940	51,063	51,482	51,976	51,729	51,933	51,973
	短期大学		8,048	7,718	7,869	7,728	7,696	7,419	7,068	6,673	6,320	6,127
	専門学校		24,991	25,524	25,691	24,157	24,248	23,246	23,487	22,899	23,340	23,856
進学率 (現役)	大学		38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3
	短期大学		5.9	5.8	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5	5.3	5.0	4.9
	専門学校		18.4	19.1	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2	18.0	18.4	18.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

※専門学校=専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2011～2020年）

			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
福岡	卒業生数		42,241	41,632	42,908	41,758	42,095	42,094	42,535	41,698	41,981	41,909
	進学者数	大学	19,382	18,791	19,141	19,082	19,668	19,900	20,256	19,669	20,042	19,988
		短期大学	2,707	2,605	2,613	2,636	2,611	2,492	2,309	2,159	2,077	2,070
		専門学校	6,524	6,805	6,802	6,538	6,405	6,165	6,905	7,049	7,114	7,407
	進学率 （現役）	大学	45.9	45.1	44.6	45.7	46.7	47.3	47.6	47.2	47.7	47.7
		短期大学	6.4	6.3	6.1	6.3	6.2	5.9	5.4	5.2	4.9	4.9
専門学校		15.4	16.3	15.9	15.7	15.2	14.6	16.2	16.9	16.9	17.7	
佐賀	卒業生数		8,732	8,423	8,519	8,281	8,239	8,254	8,106	8,051	8,079	7,976
	進学者数	大学	3,149	2,924	2,995	2,960	3,064	3,051	3,063	3,149	3,132	3,054
		短期大学	465	481	485	442	435	431	426	366	364	349
		専門学校	1,418	1,477	1,515	1,446	1,446	1,388	1,225	1,249	1,344	1,310
	進学率 （現役）	大学	36.1	34.7	35.2	35.7	37.2	37.0	37.8	39.1	38.8	38.3
		短期大学	5.3	5.7	5.7	5.3	5.3	5.2	5.3	4.5	4.5	4.4
専門学校		16.2	17.5	17.8	17.5	17.6	16.8	15.1	15.5	16.6	16.4	
長崎	卒業生数		14,577	14,040	14,081	13,182	12,924	12,915	12,977	12,740	12,289	12,161
	進学者数	大学	5,377	5,191	5,121	4,923	4,560	4,938	4,893	5,031	4,905	5,005
		短期大学	652	667	634	652	620	666	625	559	521	515
		専門学校	2,501	2,381	2,526	2,310	2,526	2,095	2,235	2,034	2,056	2,136
	進学率 （現役）	大学	36.9	37.0	36.4	37.3	35.3	38.2	37.7	39.5	39.9	41.2
		短期大学	4.5	4.8	4.5	4.9	4.8	5.2	4.8	4.4	4.2	4.2
専門学校		17.2	17.0	17.9	17.5	19.5	16.2	17.2	16.0	16.7	17.6	
熊本	卒業生数		16,635	16,293	16,640	15,968	15,911	15,719	15,622	15,405	15,532	14,931
	進学者数	大学	6,275	6,104	6,248	6,197	6,324	6,355	6,461	6,383	6,463	6,141
		短期大学	696	701	666	728	651	593	573	547	505	512
		専門学校	3,362	3,318	3,181	2,990	2,877	2,922	2,769	2,656	2,851	2,678
	進学率 （現役）	大学	37.7	37.5	37.5	38.8	39.7	40.4	41.4	41.4	41.6	41.1
		短期大学	4.2	4.3	4.0	4.6	4.1	3.8	3.7	3.6	3.3	3.4
専門学校		20.2	20.4	19.1	18.7	18.1	18.6	17.7	17.2	18.4	17.9	
大分	卒業生数		10,662	10,621	11,001	10,419	10,517	10,343	10,102	10,083	9,973	9,962
	進学者数	大学	3,982	3,822	3,896	3,626	3,781	3,730	3,663	3,805	3,719	3,859
		短期大学	912	824	901	882	913	859	835	773	721	749
		専門学校	2,128	2,150	2,308	2,196	2,211	2,118	2,066	1,957	1,864	1,921
	進学率 （現役）	大学	37.3	36.0	35.4	34.8	36.0	36.1	36.3	37.7	37.3	38.7
		短期大学	8.6	7.8	8.2	8.5	8.7	8.3	8.3	7.7	7.2	7.5
専門学校		20.0	20.2	21.0	21.1	21.0	20.5	20.5	19.4	18.7	19.3	
宮崎	卒業生数		10,916	10,807	11,357	10,653	10,752	10,657	10,364	10,028	10,160	10,080
	進学者数	大学	3,885	3,834	3,903	3,768	3,788	3,977	3,826	3,805	3,780	3,800
		短期大学	640	601	694	639	662	568	598	564	538	493
		専門学校	1,859	1,971	1,981	1,782	1,794	1,826	1,656	1,639	1,767	1,791
	進学率 （現役）	大学	35.6	35.5	34.4	35.4	35.2	37.3	36.9	37.9	37.2	37.7
		短期大学	5.9	5.6	6.1	6.0	6.2	5.3	5.8	5.6	5.3	4.9
専門学校		17.0	18.2	17.4	16.7	16.7	17.1	16.0	16.3	17.4	17.8	
鹿児島	卒業生数		17,007	16,321	16,447	15,374	15,214	14,928	14,765	14,489	14,607	14,427
	進学者数	大学	5,195	4,803	4,815	4,428	4,585	4,562	4,637	4,689	4,693	4,717
		短期大学	1,392	1,301	1,346	1,220	1,201	1,229	1,138	1,146	1,075	970
		専門学校	3,455	3,519	3,425	3,182	3,037	2,933	2,973	2,739	2,846	2,871
	進学率 （現役）	大学	30.5	29.4	29.3	28.8	30.1	30.6	31.4	32.4	32.1	32.7
		短期大学	8.2	8.0	8.2	7.9	7.9	8.2	7.7	7.9	7.4	6.7
専門学校		20.3	21.6	20.8	20.7	20.0	19.6	20.1	18.9	19.5	19.9	
沖縄	卒業生数		15,015	15,171	14,970	14,649	14,884	14,234	14,607	14,573	14,508	14,509
	進学者数	大学	4,900	4,915	5,156	4,956	5,293	4,969	5,177	5,198	5,199	5,409
		短期大学	584	538	530	529	603	581	564	559	519	469
		専門学校	3,744	3,903	3,953	3,713	3,952	3,799	3,658	3,576	3,498	3,742
	進学率 （現役）	大学	32.6	32.4	34.4	33.8	35.6	34.9	35.4	35.7	35.8	37.3
		短期大学	3.9	3.5	3.5	3.6	4.1	4.1	3.9	3.8	3.6	3.2
専門学校		24.9	25.7	26.4	25.3	26.6	26.7	25.0	24.5	24.1	25.8	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：九州沖縄：2011～2020年）

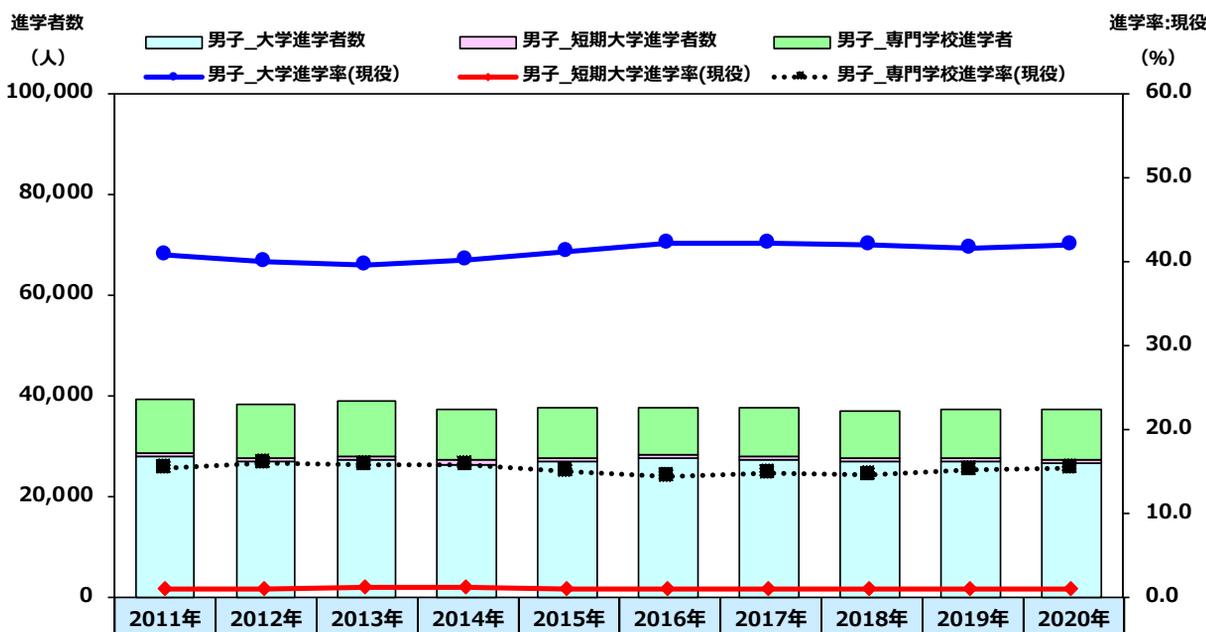
■ 男子では、大学進学率が1.2ポイント上昇し、進学者では1,358人減少

進学者数

- ・ 大学は、2011年28,008人→2020年26,650人（1,358人減少）と、4.8%減少。
- ・ 短期大学は、2011年698人→2020年640人（58人減少）と、8.3%減少。
- ・ 専門学校は、2011年10,591人→2020年9,816人（775人減少）と、7.3%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年40.7%→2020年41.9%（1.2ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年1.0%→2020年1.0%（変化なし）
- ・ 専門学校は、2011年15.4%→2020年15.4%（変化なし）



九州 沖縄	卒業生数		68,811	67,139	68,624	65,466	65,683	65,044	64,858	64,176	64,688	63,641
	進学者数	大学	28,008	26,851	27,155	26,324	27,002	27,384	27,356	26,963	26,887	26,650
	短期大学	698	662	725	725	670	679	641	594	616	640	
	専門学校	10,591	10,678	10,874	10,305	9,866	9,330	9,516	9,401	9,769	9,816	
進学率 (現役)	大学	40.7	40.0	39.6	40.2	41.1	42.1	42.2	42.0	41.6	41.9	
	短期大学	1.0	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	
	専門学校	15.4	15.9	15.8	15.7	15.0	14.3	14.7	14.6	15.1	15.4	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

※専門学校=専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（男子：県別：2011～2020年）

			2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
福岡	卒業生数		21,248	20,727	21,499	20,819	20,971	21,114	21,222	20,992	21,332	20,917
	進学者数	大学	10,329	10,018	10,139	9,979	10,368	10,478	10,609	10,142	10,257	10,095
		短期大学	254	222	271	283	283	260	268	226	262	269
		専門学校	2,830	2,904	2,874	2,822	2,609	2,535	2,794	2,974	3,078	3,072
	進学率 (現役)	大学	48.6	48.3	47.2	47.9	49.4	49.6	50.0	48.3	48.1	48.3
		短期大学	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.2	1.3	1.1	1.2	1.3
専門学校		13.3	14.0	13.4	13.6	12.4	12.0	13.2	14.2	14.4	14.7	
佐賀	卒業生数		4,581	4,374	4,362	4,247	4,166	4,255	4,153	4,181	4,271	4,111
	進学者数	大学	1,742	1,555	1,583	1,594	1,594	1,644	1,625	1,684	1,660	1,635
		短期大学	39	45	38	33	30	36	27	30	27	21
		専門学校	546	601	594	566	542	540	450	492	537	481
	進学率 (現役)	大学	38.0	35.6	36.3	37.5	38.3	38.6	39.1	40.3	38.9	39.8
		短期大学	0.9	1.0	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5
専門学校		11.9	13.7	13.6	13.3	13.0	12.7	10.8	11.8	12.6	11.7	
長崎	卒業生数		7,413	7,093	7,101	6,639	6,480	6,543	6,602	6,454	6,255	6,229
	進学者数	大学	2,827	2,706	2,628	2,530	2,340	2,602	2,505	2,564	2,440	2,543
		短期大学	54	48	42	47	41	42	38	43	35	41
		専門学校	888	890	937	903	914	750	813	759	794	816
	進学率 (現役)	大学	38.1	38.2	37.0	38.1	36.1	39.8	37.9	39.7	39.0	40.8
		短期大学	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.7
専門学校		12.0	12.5	13.2	13.6	14.1	11.5	12.3	11.8	12.7	13.1	
熊本	卒業生数		8,487	8,248	8,498	8,148	8,226	8,005	8,020	7,836	7,998	7,588
	進学者数	大学	3,272	3,113	3,203	3,185	3,307	3,332	3,378	3,279	3,343	3,103
		短期大学	97	91	100	96	83	82	81	71	69	62
		専門学校	1,449	1,401	1,368	1,308	1,170	1,192	1,154	1,030	1,160	1,046
	進学率 (現役)	大学	38.6	37.7	37.7	39.1	40.2	41.6	42.1	41.8	41.8	40.9
		短期大学	1.1	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.8
専門学校		17.1	17.0	16.1	16.1	14.2	14.9	14.4	13.1	14.5	13.8	
大分	卒業生数		5,323	5,442	5,592	5,254	5,261	5,209	4,943	5,071	5,153	5,054
	進学者数	大学	2,144	2,127	2,115	1,959	2,069	2,063	1,990	2,031	2,031	2,104
		短期大学	103	108	128	138	93	105	103	87	81	99
		専門学校	864	920	988	925	948	861	836	833	862	805
	進学率 (現役)	大学	40.3	39.1	37.8	37.3	39.3	39.6	40.3	40.1	39.4	41.6
		短期大学	1.9	2.0	2.3	2.6	1.8	2.0	2.1	1.7	1.6	2.0
専門学校		16.2	16.9	17.7	17.6	18.0	16.5	16.9	16.4	16.7	15.9	
宮崎	卒業生数		5,634	5,574	5,822	5,390	5,501	5,385	5,353	5,076	5,164	5,214
	進学者数	大学	2,136	2,085	2,096	2,053	1,982	2,149	2,052	2,002	1,996	2,022
		短期大学	49	46	46	34	48	37	32	33	41	38
		専門学校	796	812	907	752	757	721	724	705	738	782
	進学率 (現役)	大学	37.9	37.4	36.0	38.1	36.0	39.9	38.3	39.4	38.7	38.8
		短期大学	0.9	0.8	0.8	0.6	0.9	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7
専門学校		14.1	14.6	15.6	14.0	13.8	13.4	13.5	13.9	14.3	15.0	
鹿児島	卒業生数		8,562	8,132	8,280	7,616	7,562	7,426	7,383	7,204	7,321	7,333
	進学者数	大学	2,986	2,669	2,723	2,391	2,541	2,516	2,528	2,548	2,573	2,576
		短期大学	57	58	65	46	46	62	52	75	56	61
		専門学校	1,495	1,405	1,457	1,386	1,181	1,158	1,208	1,115	1,116	1,185
	進学率 (現役)	大学	34.9	32.8	32.9	31.4	33.6	33.9	34.2	35.4	35.1	35.1
		短期大学	0.7	0.7	0.8	0.6	0.6	0.8	0.7	1.0	0.8	0.8
専門学校		17.5	17.3	17.6	18.2	15.6	15.6	16.4	15.5	15.2	16.2	
沖縄	卒業生数		7,563	7,549	7,470	7,353	7,516	7,107	7,182	7,362	7,194	7,195
	進学者数	大学	2,572	2,578	2,668	2,633	2,801	2,600	2,669	2,713	2,587	2,572
		短期大学	45	44	35	48	46	55	40	29	45	49
		専門学校	1,723	1,745	1,749	1,643	1,745	1,573	1,537	1,493	1,484	1,629
	進学率 (現役)	大学	34.0	34.2	35.7	35.8	37.3	36.6	37.2	36.9	36.0	35.7
		短期大学	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6	0.8	0.6	0.4	0.6	0.7
専門学校		22.8	23.1	23.4	22.3	23.2	22.1	21.4	20.3	20.6	22.6	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

※専門学校＝専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：九州沖縄：2011～2020年）

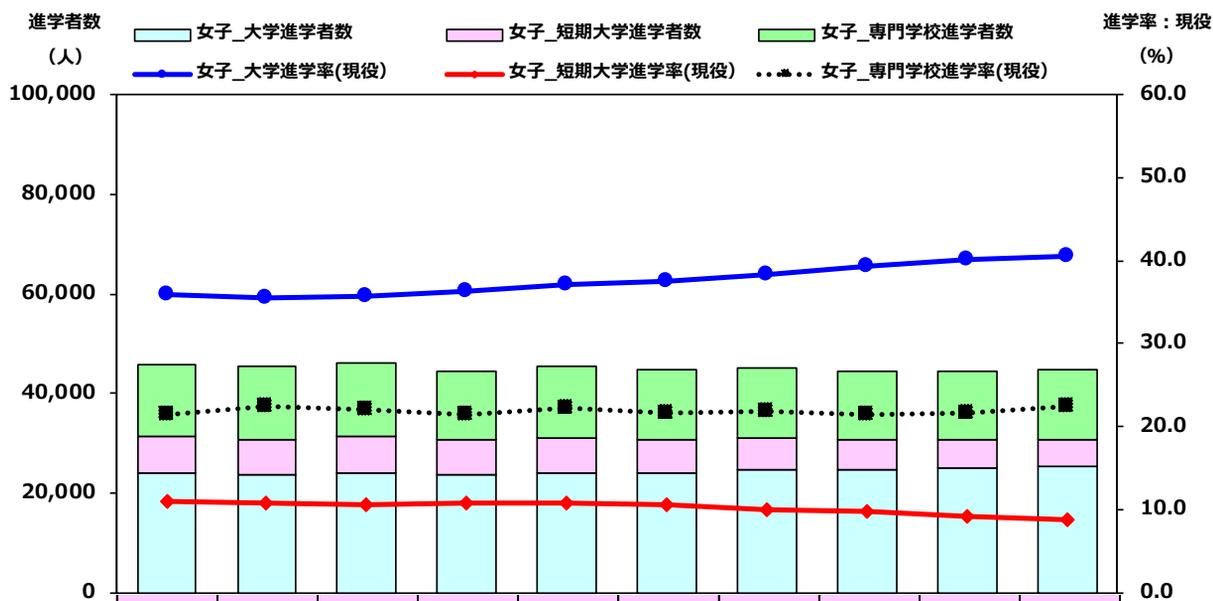
■ 女子では、大学進学率が4.6ポイント上昇し、進学者も1,186人増加する一方、短期大学・専門学校は進学者が減少（合計2,223人減少）

進学者数

- ・ 大学は、2011年24,137人→2020年25,323人（1,186人増加）と、4.9%増加。
- ・ 短期大学は、2011年7,350人→2020年5,487人（1,863人減少）と、25.3%減少。
- ・ 専門学校は、2011年14,400人→2020年14,040人（360人減少）と、2.5%減少。

進学率（現役）

- ・ 大学は、2011年36.0%→2020年40.6%（4.6ポイント上昇）
- ・ 短期大学は、2011年11.0%→2020年8.8%（2.2ポイント低下）
- ・ 専門学校は、2011年21.5%→2020年22.5%（1.0ポイント上昇）



		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
九州 沖縄	卒業生数	66,974	66,169	67,299	64,818	64,853	64,100	64,220	62,891	62,441	62,314	
	進学者数	大学	24,137	23,533	24,120	23,616	24,061	24,098	24,620	24,766	25,046	25,323
		短期大学	7,350	7,056	7,144	7,003	7,026	6,740	6,427	6,079	5,704	5,487
		専門学校	14,400	14,846	14,817	13,852	14,382	13,916	13,971	13,498	13,571	14,040
	進学率 (現役)	大学	36.0	35.6	35.8	36.4	37.1	37.6	38.3	39.4	40.1	40.6
		短期大学	11.0	10.7	10.6	10.8	10.8	10.5	10.0	9.7	9.1	8.8
専門学校		21.5	22.4	22.0	21.4	22.2	21.7	21.8	21.5	21.7	22.5	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

・ 進学者数：高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・ 進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)

※専門学校=専修学校専門課程

進学者数・進学率（現役）の推移（女子：県別：2011～2020年）

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
福岡	卒業生数		20,993	20,905	21,409	20,939	21,124	20,980	21,313	20,706	20,649	20,992
	進学者数	大学	9,053	8,773	9,002	9,103	9,300	9,422	9,647	9,527	9,785	9,893
		短期大学	2,453	2,383	2,342	2,353	2,328	2,232	2,041	1,933	1,815	1,801
		専門学校	3,694	3,901	3,928	3,716	3,796	3,630	4,111	4,075	4,036	4,335
	進学率 (現役)	大学	43.1	42.0	42.0	43.5	44.0	44.9	45.3	46.0	47.4	47.1
		短期大学	11.7	11.4	10.9	11.2	11.0	10.6	9.6	9.3	8.8	8.6
専門学校		17.6	18.7	18.3	17.7	18.0	17.3	19.3	19.7	19.5	20.7	
佐賀	卒業生数		4,151	4,049	4,157	4,034	4,073	3,999	3,953	3,870	3,808	3,865
	進学者数	大学	1,407	1,369	1,412	1,366	1,470	1,407	1,438	1,465	1,472	1,419
		短期大学	426	436	447	409	405	395	399	336	337	328
		専門学校	872	876	921	880	904	848	775	757	807	829
	進学率 (現役)	大学	33.9	33.8	34.0	33.9	36.1	35.2	36.4	37.9	38.7	36.7
		短期大学	10.3	10.8	10.8	10.1	9.9	9.9	10.1	8.7	8.8	8.5
専門学校		21.0	21.6	22.2	21.8	22.2	21.2	19.6	19.6	21.2	21.4	
長崎	卒業生数		7,164	6,947	6,980	6,543	6,444	6,372	6,375	6,286	6,034	5,932
	進学者数	大学	2,550	2,485	2,493	2,393	2,220	2,336	2,388	2,467	2,465	2,462
		短期大学	598	619	592	605	579	624	587	516	486	474
		専門学校	1,613	1,491	1,589	1,407	1,612	1,345	1,422	1,275	1,262	1,320
	進学率 (現役)	大学	35.6	35.8	35.7	36.6	34.5	36.7	37.5	39.2	40.9	41.5
		短期大学	8.3	8.9	8.5	9.2	9.0	9.8	9.2	8.2	8.1	8.0
専門学校		22.5	21.5	22.8	21.5	25.0	21.1	22.3	20.3	20.9	22.3	
熊本	卒業生数		8,148	8,045	8,142	7,820	7,685	7,714	7,602	7,569	7,534	7,343
	進学者数	大学	3,003	2,991	3,045	3,012	3,017	3,023	3,083	3,104	3,120	3,038
		短期大学	599	610	566	632	568	511	492	476	436	450
		専門学校	1,913	1,917	1,813	1,682	1,707	1,730	1,615	1,626	1,691	1,632
	進学率 (現役)	大学	36.9	37.2	37.4	38.5	39.3	39.2	40.6	41.0	41.4	41.4
		短期大学	7.4	7.6	7.0	8.1	7.4	6.6	6.5	6.3	5.8	6.1
専門学校		23.5	23.8	22.3	21.5	22.2	22.4	21.2	21.5	22.4	22.2	
大分	卒業生数		5,339	5,179	5,409	5,165	5,256	5,134	5,159	5,012	4,820	4,908
	進学者数	大学	1,838	1,695	1,781	1,667	1,712	1,667	1,673	1,774	1,688	1,755
		短期大学	809	716	773	744	820	754	732	686	640	650
		専門学校	1,264	1,230	1,320	1,271	1,263	1,257	1,230	1,124	1,002	1,116
	進学率 (現役)	大学	34.4	32.7	32.9	32.3	32.6	32.5	32.4	35.4	35.0	35.8
		短期大学	15.2	13.8	14.3	14.4	15.6	14.7	14.2	13.7	13.3	13.2
専門学校		23.7	23.7	24.4	24.6	24.0	24.5	23.8	22.4	20.8	22.7	
宮崎	卒業生数		5,282	5,233	5,535	5,263	5,251	5,272	5,011	4,952	4,996	4,866
	進学者数	大学	1,749	1,749	1,807	1,715	1,806	1,828	1,774	1,803	1,784	1,778
		短期大学	591	555	648	605	614	531	566	531	497	455
		専門学校	1,063	1,159	1,074	1,030	1,037	1,105	932	934	1,029	1,009
	進学率 (現役)	大学	33.1	33.4	32.6	32.6	34.4	34.7	35.4	36.4	35.7	36.5
		短期大学	11.2	10.6	11.7	11.5	11.7	10.1	11.3	10.7	9.9	9.4
専門学校		20.1	22.1	19.4	19.6	19.7	21.0	18.6	18.9	20.6	20.7	
鹿児島	卒業生数		8,445	8,189	8,167	7,758	7,652	7,502	7,382	7,285	7,286	7,094
	進学者数	大学	2,209	2,134	2,092	2,037	2,044	2,046	2,109	2,141	2,120	2,141
		短期大学	1,335	1,243	1,281	1,174	1,155	1,167	1,086	1,071	1,019	909
		専門学校	1,960	2,114	1,968	1,796	1,856	1,775	1,765	1,624	1,730	1,686
	進学率 (現役)	大学	26.2	26.1	25.6	26.3	26.7	27.3	28.6	29.4	29.1	30.2
		短期大学	15.8	15.2	15.7	15.1	15.1	15.6	14.7	14.7	14.0	12.8
専門学校		23.2	25.8	24.1	23.2	24.3	23.7	23.9	22.3	23.7	23.8	
沖縄	卒業生数		7,452	7,622	7,500	7,296	7,368	7,127	7,425	7,211	7,314	7,314
	進学者数	大学	2,328	2,337	2,488	2,323	2,492	2,369	2,508	2,485	2,612	2,837
		短期大学	539	494	495	481	557	526	524	530	474	420
		専門学校	2,021	2,158	2,204	2,070	2,207	2,226	2,121	2,083	2,014	2,113
	進学率 (現役)	大学	31.2	30.7	33.2	31.8	33.8	33.2	33.8	34.5	35.7	38.8
		短期大学	7.2	6.5	6.6	6.6	7.6	7.4	7.1	7.3	6.5	5.7
専門学校		27.1	28.3	29.4	28.4	30.0	31.2	28.6	28.9	27.5	28.9	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率(現役)：進学者数(大学・短期大学・専門学校※)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制＋中等教育学校後期課程)

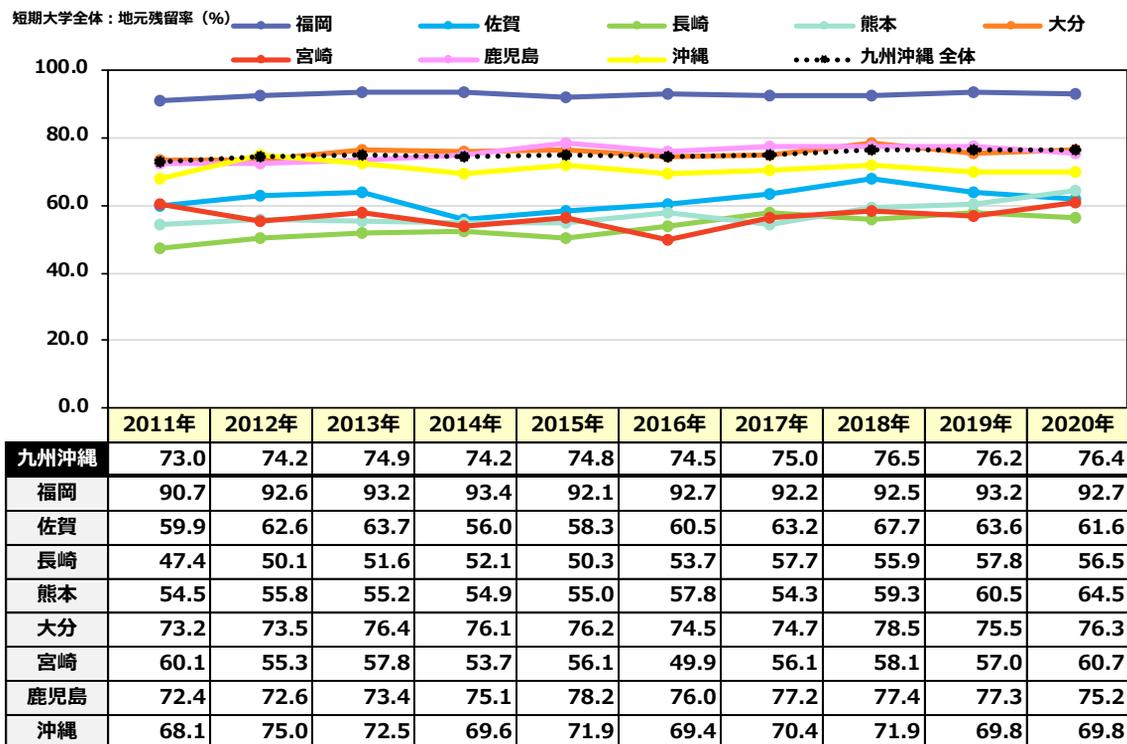
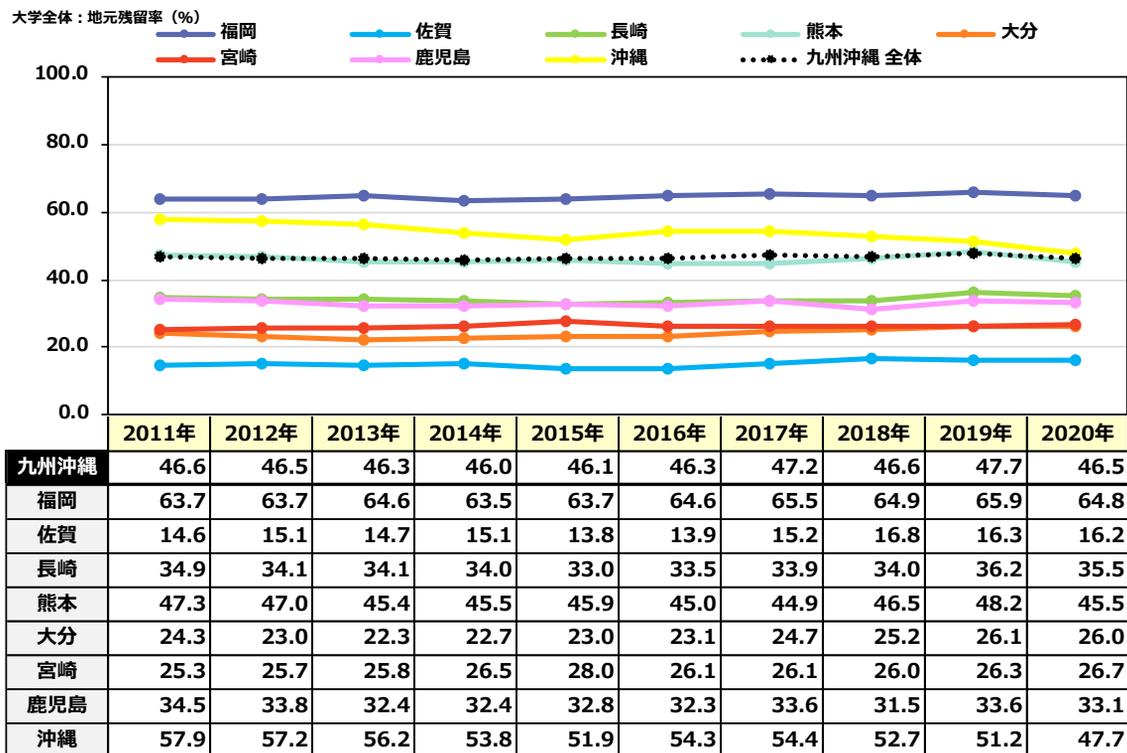
※専門学校＝専修学校専門課程

地元残留率の推移（全体：九州沖縄：2011～2020年）

■ 大学は、2011年46.6%→2020年46.5%（0.1ポイント低下）

短期大学は、2011年73.0%→2020年76.4%（3.4ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、大分県（2011年24.3%→2020年26.0%、1.7ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、熊本県（2011年54.5%→2020年64.5%、10.0ポイント上昇）。



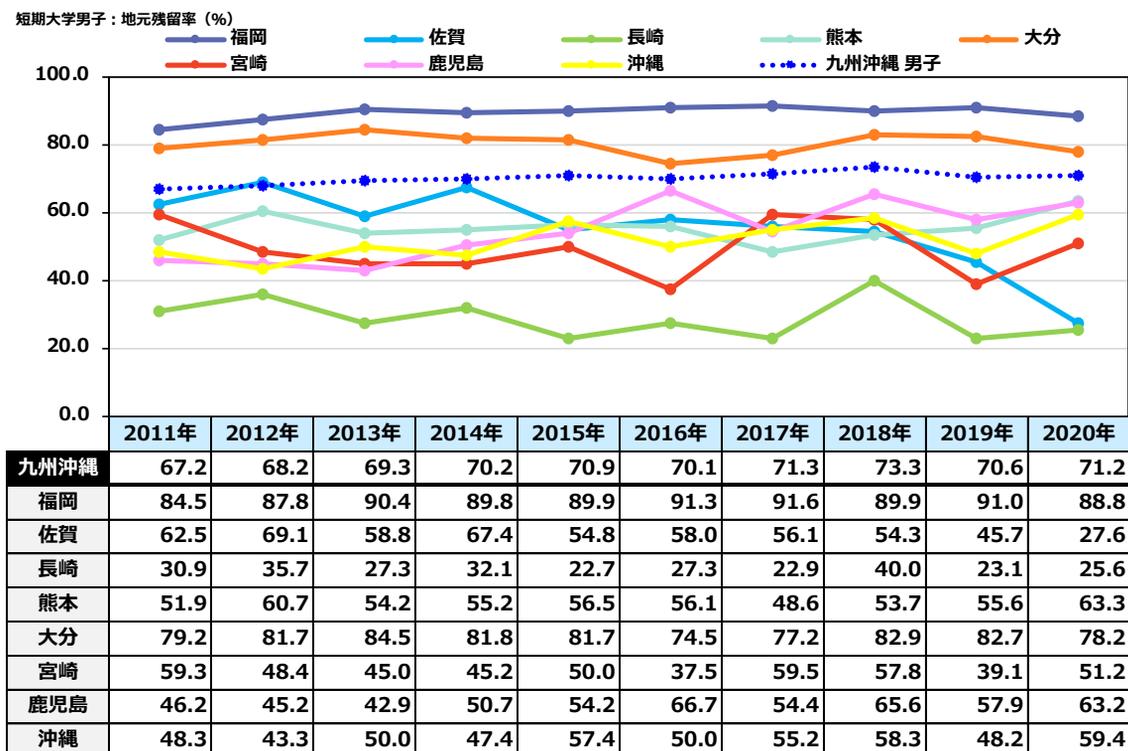
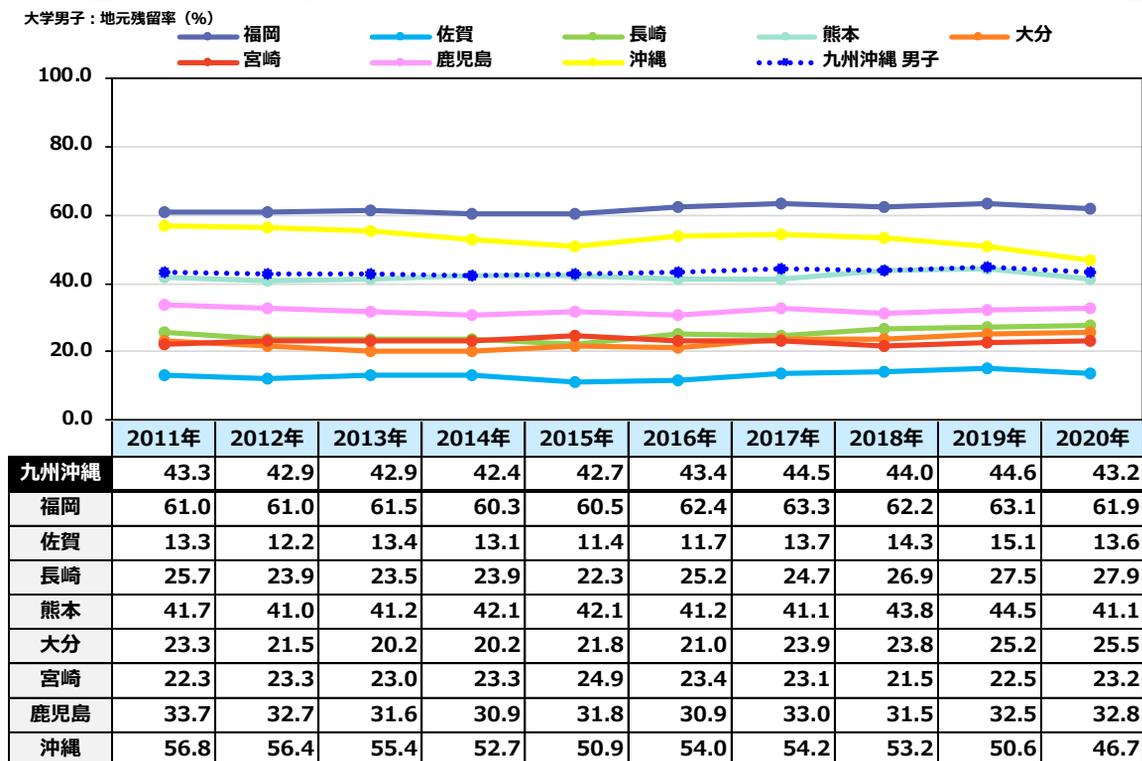
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

地元残留率の推移（男子：九州沖縄：2011～2020年）

■ 大学は、2011年43.3%→2020年43.2%（0.1ポイント低下）
 短期大学は、2011年67.2%→2020年71.2%（4.0ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、長崎県（2011年25.7%→2020年27.9%、2.2ポイント上昇）、大分県（2011年23.3%→2020年25.5%、2.2ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、鹿児島県（2011年46.2%→2020年63.2%、17.0ポイント上昇）。



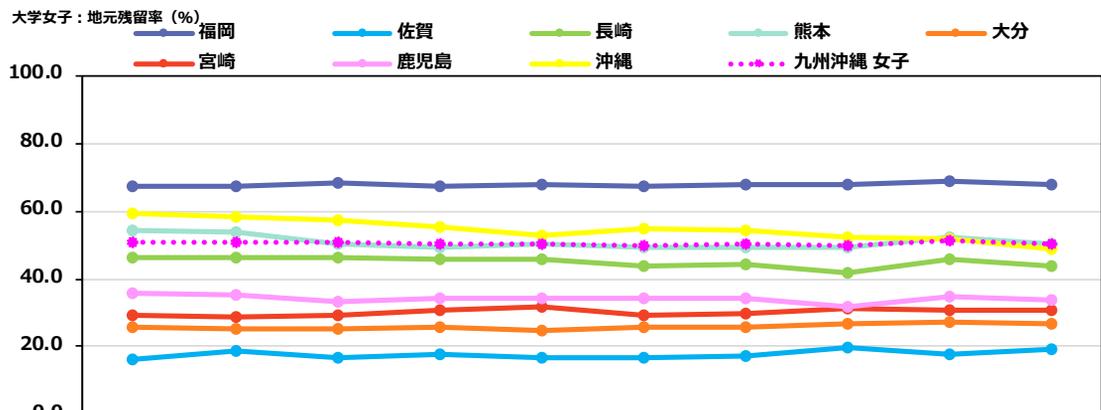
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

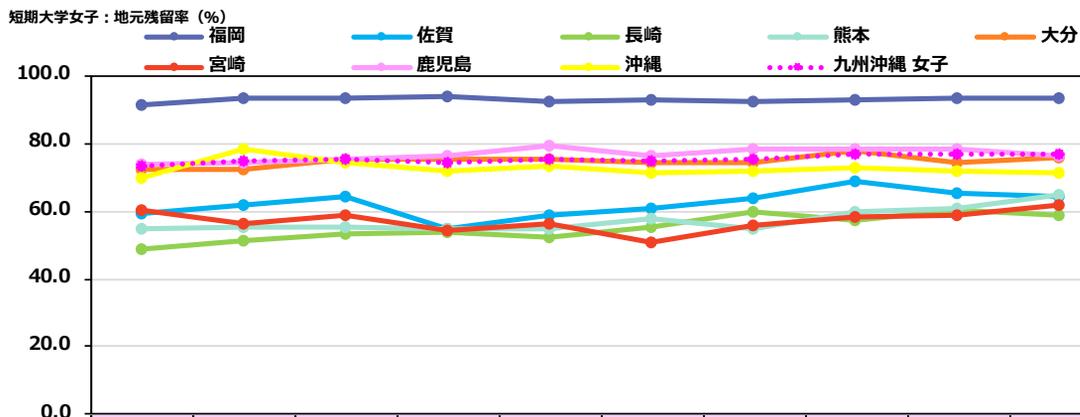
地元残留率の推移（女子：九州沖縄：2011～2020年）

■ 大学は、2011年50.8%→2020年50.2%（0.6ポイント低下）
 短期大学は、2011年73.6%→2020年77.0%（3.4ポイント上昇）

- ・ 大学で上昇率が高いのは、佐賀県（2011年16.4%→2020年19.4%、3.0ポイント上昇）。
- ・ 短期大学で上昇率が高いのは、長崎県（2011年48.8%→2020年59.0%、10.2ポイント上昇）。



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
九州沖縄	50.8	50.9	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3	50.2
福岡	67.1	67.2	68.4	67.4	67.7	67.2	68.0	68.1	69.1	68.1
佐賀	16.4	18.9	16.5	17.6	16.8	16.8	17.1	19.8	17.8	19.4
長崎	46.1	46.2	46.4	45.8	45.6	43.6	44.5	41.8	45.6	44.0
熊本	54.1	54.0	50.2	49.3	50.4	49.5	49.4	49.5	52.4	50.3
大分	25.5	25.0	25.0	25.8	24.5	25.9	25.8	26.9	27.1	26.7
宮崎	29.1	28.7	29.5	30.6	31.7	29.5	29.7	31.4	30.6	31.0
鹿児島	35.7	35.4	33.5	34.4	34.4	34.2	34.4	31.6	34.9	33.6
沖縄	59.1	58.2	57.2	55.1	53.0	54.6	54.5	52.2	51.9	48.7

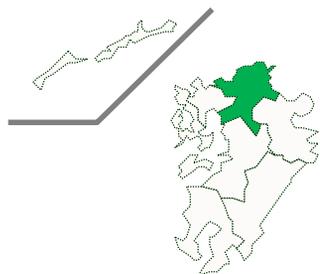


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
九州沖縄	73.6	74.8	75.5	74.6	75.2	75.0	75.4	76.8	76.8	77.0
福岡	91.4	93.2	93.5	93.8	92.3	92.9	92.3	92.9	93.5	93.3
佐賀	59.5	61.9	64.2	54.8	58.6	60.7	63.8	69.0	65.3	64.4
長崎	48.8	51.3	53.3	53.8	52.2	55.4	59.6	57.2	60.5	59.0
熊本	54.8	55.2	55.3	54.9	54.8	58.0	55.0	59.8	61.0	64.6
大分	72.5	72.5	75.2	75.3	75.6	74.5	74.3	78.1	74.6	76.0
宮崎	60.2	56.1	59.0	54.2	56.5	50.8	55.9	58.1	58.6	61.6
鹿児島	73.8	74.3	75.6	76.5	79.5	76.5	78.6	78.3	78.6	76.2
沖縄	70.1	78.5	74.6	71.9	73.2	71.5	71.9	72.7	72.1	71.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・ 残留率：自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）

福岡県



学校数

大学 : 34 (国立 3・公立 4・私立 27)
 短期大学 : 18 (私立 18)
 専門学校 : 138 (国立 1・私立 137)

卒業者数

2011年42,241人→2020年41,909人 (332人減少)

進学者数

大学 : 2011年19,382人→2020年19,988人 (606人増加)
 短期大学 : 2011年 2,707人→2020年 2,070人 (637人減少)
 専門学校 : 2011年 6,524人→2020年 7,407人 (883人増加)

進学率(現役)

大学 : 2011年45.9%→2020年47.7% (1.8ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 6.4%→2020年 4.9% (1.5ポイント低下)
 専門学校 : 2011年15.4%→2020年17.7% (2.3ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年63.7%→2020年64.8% (1.1ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年90.7%→2020年92.7% (2.0ポイント上昇)

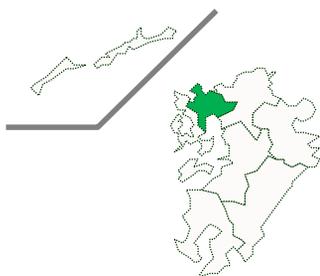
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位佐賀 (1,409人)、2位熊本 (1,333人)、3位長崎 (1,208人)
 短期大学 : 1位大分 (150人)、2位長崎 (144人)、3位鹿児島 (118人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位東京 (1,348人)、2位山口 (704人)、3位熊本 (695人)
 短期大学 : 1位大分 (43人)、2位佐賀 (31人)、3位東京 (18人)

佐賀県



学校数

大学 : 2 (国立 1・私立 1)
 短期大学 : 3 (私立 3)
 専門学校 : 23 (公立 1・私立 22)

卒業者数

2011年8,732人→2020年7,976人 (756人減少)

進学者数

大学 : 2011年3,149人→2020年3,054人 (95人減少)
 短期大学 : 2011年 465人→2020年 349人 (116人減少)
 専門学校 : 2011年1,418人→2020年1,310人 (108人減少)

進学率(現役)

大学 : 2011年36.1%→2020年38.3% (2.2ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 5.3%→2020年 4.4% (0.9ポイント低下)
 専門学校 : 2011年16.2%→2020年16.4% (0.2ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年14.6%→2020年16.2% (1.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年59.9%→2020年61.6% (1.7ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (676人)、2位長崎 (193人)、3位熊本 (110人)
 短期大学 : 1位福岡 (31人)、2位長崎 (19人)、3位熊本 (12人)

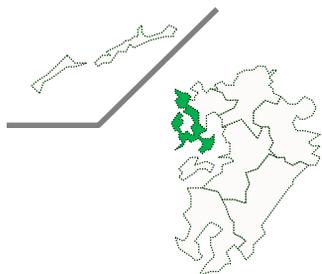
入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (1,409人)、2位東京 (299人)、3位長崎 (197人)
 短期大学 : 1位福岡 (112人)、2位大分 (12人)、3位東京 (6人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

長崎県



学校数

大学 : 8 (国立 1・公立 1・私立 6)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 29 (公立 1・私立 28)

卒業生数

2011年14,577人→2020年12,161人 (2,416人減少)

進学者数

大学 : 2011年5,377人→2020年5,005人 (372人減少)
 短期大学 : 2011年 652人→2020年 515人 (137人減少)
 専門学校 : 2011年2,501人→2020年2,136人 (365人減少)

進学率(現役)

大学 : 2011年36.9%→2020年41.2% (4.3ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 4.5%→2020年 4.2% (0.3ポイント低下)
 専門学校 : 2011年17.2%→2020年17.6% (0.4ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年34.9%→2020年35.5% (0.6ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年47.4%→2020年56.5% (9.1ポイント上昇)

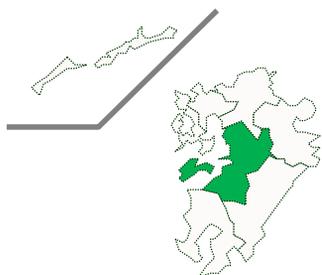
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (501人)、2位佐賀 (197人)、3位熊本 (176人)
 短期大学 : 1位鹿児島 (4人)、2位沖縄・佐賀 (3人)

入学者流出先

大学 : 1位福岡 (1,208人)、2位東京 (404人)、3位熊本 (244人)
 短期大学 : 1位福岡 (144人)、2位大分 (23人)、3位佐賀 (24人)

熊本県



学校数

大学 : 9 (国立 1・公立 1・私立 7)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 45 (公立 4・私立 41)

卒業生数

2011年16,635人→2020年14,931人 (1,704人減少)

進学者数

大学 : 2011年6,275人→2020年6,141人 (134人減少)
 短期大学 : 2011年 696人→2020年 512人 (184人減少)
 専門学校 : 2011年3,362人→2020年2,678人 (684人減少)

進学率(現役)

大学 : 2011年37.7%→2020年41.1% (3.4ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 4.2%→2020年 3.4% (0.8ポイント低下)
 専門学校 : 2011年20.2%→2020年17.9% (2.3ポイント低下)

残留率

大学 : 2011年47.3%→2020年45.5% (1.8ポイント低下)
 短期大学 : 2011年54.5%→2020年64.5% (10.0ポイント増加)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (695人)、2位鹿児島 (340人)、3位宮崎 (277人)
 短期大学 : 1位福岡・鹿児島 (6人)、2位北海道・長崎・宮崎 (2人)

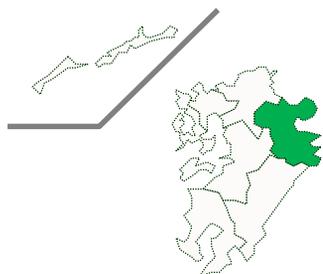
入学者流出先

大学 : 1位福岡 (1,333人)、2位東京 (512人)、3位鹿児島 (228人)
 短期大学 : 1位福岡 (116人)、2位大分 (28人)、3位佐賀 (12人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業生数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

大分県



学校数

大学 : 5 (国立 1・公立 1・私立 3)
 短期大学 : 5 (公立 1・私立 4)
 専門学校 : 41 (公立 1・私立 40)

卒業者数

2011年10,662人→2020年9,962人 (700人減少)

進学者数

大学 : 2011年3,982人→2020年3,859人 (123人減少)
 短期大学 : 2011年 912人→2020年 749人 (163人減少)
 専門学校 : 2011年2,128人→2020年1,921人 (207人減少)

進学率(現役)

大学 : 2011年37.3%→2020年38.7% (1.4ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 8.6%→2020年 7.5% (1.1ポイント低下)
 専門学校 : 2011年20.0%→2020年19.3% (0.7ポイント低下)

残留率

大学 : 2011年24.3%→2020年26.0% (1.7ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年73.2%→2020年76.3% (3.1ポイント上昇)

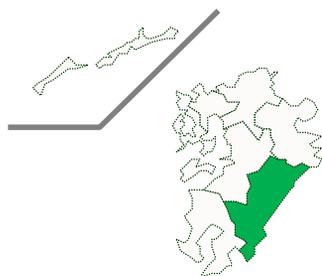
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (314人)、2位宮崎 (205人)、3位熊本・長崎 (153人)
 短期大学 : 1位福岡 (43人)、2位宮崎 (35人)、3位熊本 (28人)

入学者流出先

大学 : 1位福岡 (1,046人)、2位東京 (306人)、3位熊本 (236人)
 短期大学 : 1位福岡 (150人)、2位大阪 (8人)、3位佐賀 (5人)

宮崎県



学校数

大学 : 7 (国立 1・公立 2・私立 4)
 短期大学 : 2 (私立 2)
 専門学校 : 32 (公立 1・私立 31)

卒業者数

2011年10,916人→2020年10,080人 (836人減少)

進学者数

大学 : 2011年3,885人→2020年3,800人 (85人減少)
 短期大学 : 2011年 640人→2020年 493人 (147人減少)
 専門学校 : 2011年1,859人→2020年1,791人 (68人減少)

進学率(現役)

大学 : 2011年35.6%→2020年37.7% (2.1ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年 5.9%→2020年 4.9% (1.0ポイント低下)
 専門学校 : 2011年17.0%→2020年17.8% (0.8ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年25.3%→2020年26.7% (1.4ポイント上昇)
 短期大学 : 2011年60.1%→2020年60.7% (0.6ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位鹿児島 (200人)、2位福岡 (163人)、3位大分 (126人)
 短期大学 : 1位鹿児島 (6人)、2位長崎・熊本 (2人)

入学者流出先

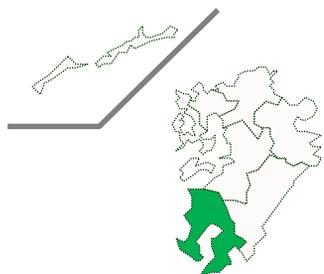
大学 : 1位福 (820人)、2位東京 (363人)、3位熊本 (277人)
 短期大学 : 1位福岡 (97人)、2位大分 (35人)、3位鹿児島 (25人)

- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

九州沖縄工リア概要 (全体：県別)

鹿児島県



学校数

大学 : 6 (国立 2・私立 4)
短期大学 : 4 (公立 1・私立 3)
専門学校 : 38 (公立 2・私立 36)

卒業者数

2011年17,007人→2020年14,427人 (2,580人減少)

進学者数

大学 : 2011年5,195人→2020年4,717人 (478人減少)
短期大学 : 2011年1,392人→2020年 970人 (422人減少)
専門学校 : 2011年3,455人→2020年2,871人 (584人減少)

進学率 (現役)

大学 : 2011年30.5%→2020年32.7% (2.2ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 8.2%→2020年 6.7% (1.5ポイント低下)
専門学校 : 2011年20.3%→2020年19.9% (0.4ポイント低下)

残留率

大学 : 2011年34.5%→2020年33.1% (1.4ポイント低下)
短期大学 : 2011年72.4%→2020年75.2% (2.8ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位福岡 (274人)、2位宮崎 (231人)、3位熊本 (228人)
短期大学 : 1位宮崎 (25人)、2位熊本 (3人)、3位京都・福岡・長崎 (2人)

入学者流出先

大学 : 1位福岡 (1,062人)、2位東京 (585人)、3位熊本 (340人)
短期大学 : 1位福岡 (118人)、2位大分 (25人)、3位東京 (22人)

学校数

大学 : 8 (国立 1・公立3・私立 4)
短期大学 : 2 (私立 2)
専門学校 : 53 (私立 53)

卒業者数

2011年15,015人→2020年14,509人 (506人減少)

進学者数

大学 : 2011年4,900人→2020年5,409人 (509人増加)
短期大学 : 2011年 584人→2020年 469人 (115人増加)
専門学校 : 2011年3,744人→2020年3,742人 (2人減少)

進学率 (現役)

大学 : 2011年32.6%→2020年37.3% (4.7ポイント上昇)
短期大学 : 2011年 3.9%→2020年 3.2% (0.7ポイント低下)
専門学校 : 2011年24.9%→2020年25.8% (0.9ポイント上昇)

残留率

大学 : 2011年57.9%→2020年47.7% (10.2ポイント低下)
短期大学 : 2011年68.1%→2020年69.8% (1.7ポイント上昇)

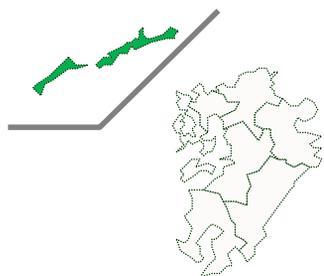
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位鹿児島 (78人)、2位福岡 (54人)、3位東京 (48人)
短期大学 : 1位新潟・東京・愛知・福岡・鹿児島 (1人)

入学者流出先

大学 : 1位東京 (778人)、2位福岡 (456人)、3位大阪 (249人)
短期大学 : 1位福岡 (26人)、2位東京 (23人)、3位岐阜・大阪 (20人)

沖縄県



- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校※2)÷高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査
第9回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2019

保護者の57%が 子どもの将来に「AIの影響がある」と回答 前回調査より18ポイント増加

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区 代表取締役社長：柏村 美生）と一般社団法人全国高等学校PTA連合会（所在地：東京都千代田区 会長：牧田 和樹）は、高校2年生とその保護者に対し、進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探る調査を実施いたしました。ここに集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。本調査によるリリースは「教育改革」編、「AIの将来への影響」編の計2つあり、本リリースは「AIの将来への影響」編です。

【将来へのAI影響について】

- AIは将来に「影響がある」と回答した高校生は保護者より9ポイントも高かった。…P.3
 - ・ 「影響がある」 高校生（65.9%） > 保護者（56.5%）
- 「影響がある」を経年でみると、高校生より保護者の方が増加幅が大きかった。…P.3

高校生	2017年:52.0%	→	2019年:65.9%	+13.9ポイント
保護者	2017年:38.7%	→	2019年:56.5%	+17.8ポイント

【これからの社会について】

- 高校生の51%、保護者の37%が、これからの社会は「好ましい」と回答。
高校生は「好ましい」が「好ましくない」を上回り、半数を超えている。…P.4
 - ・ 高校生 「好ましい」（51.4%） > 「好ましくない」（44.4%）
 - ・ 保護者 「好ましい」（37.1%） < 「好ましくない」（46.8%）

【就いてほしい職業・就きたい職業】

- 高校生の「就きたい職業」のトップは「教師」11%。
- 保護者の「就いてほしい職業」のトップは「公務員」37%。…P.5

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校生と保護者の進路に関する意識調査2019」
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】

<http://souken.shingakunet.com/>

【調査概要】

- ・調査目的：高校生を持つ保護者とその子どもにおけるコミュニケーションの実態と進路観の現状を把握する
- ・調査主管：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ、一般社団法人全国高等学校PTA連合会
- ・調査対象：高校2年生とその保護者
一般社団法人全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県、各3校ずつ計27校の公立高校
※各校：2年生2クラスの生徒とその保護者

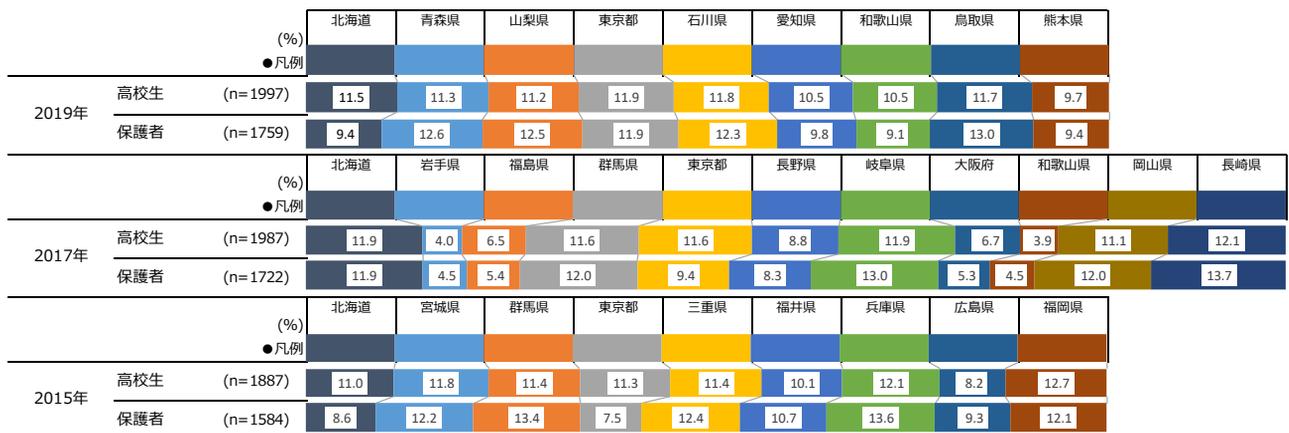
2019年	北海道 青森 山梨 東京 石川 愛知 和歌山 鳥取 熊本
2017年	北海道 岩手 福島 群馬 東京 長野 岐阜 大阪 和歌山 岡山 長崎
2015年	北海道 宮城 群馬 東京 三重 福井 兵庫 広島 福岡

※調査実施校所在地は毎年変わるため、時系列データは参考

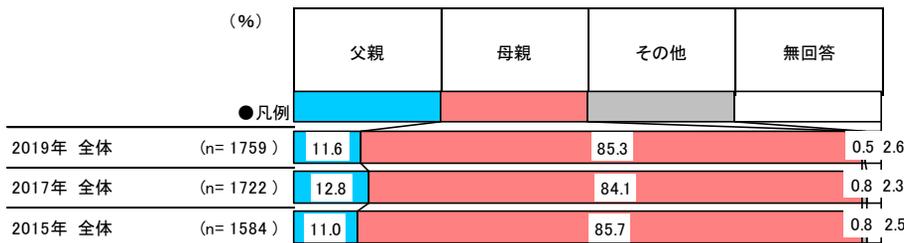
- ・調査期間：2019年9月1日（日）～2019年10月25日（金）回収終了
- ・調査方法：（1）高校生 ホームルーム時にアンケート実施
（2）保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施
クラスごと学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収
- ・有効回収数：（1）高校生 1997名 ※全問無回答1名を除く
（2）保護者 1759名 ※全問無回答6名を除く
※調査対象校のうち1校において、下記設問に不備がある調査票が配布されたため、集計対象から除外した。
高校生：教育改革への期待と不安（本リリース掲載なし）
保護者：教育改革への期待と不安、子どもとの日常コミュニケーション（本リリース掲載なし）

【回答者プロフィール】

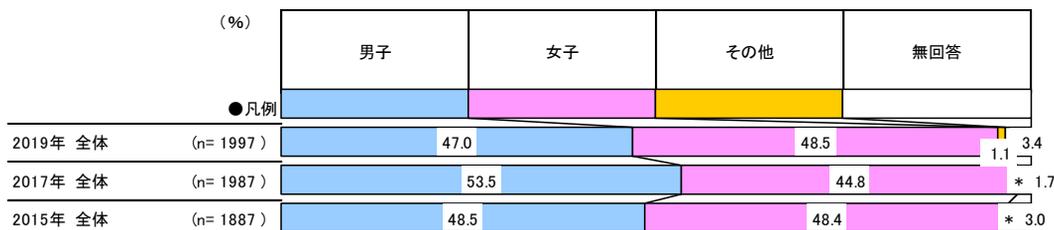
【高校生・保護者】時系列 調査対象校所在都道府県（全体）



【保護者】時系列 続柄（全体／単一回答）



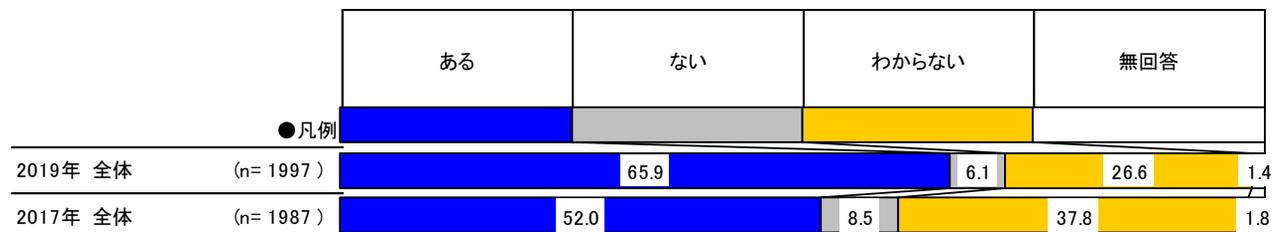
【高校生】時系列 性別（全体／単一回答）



【高校生・保護者：AI(人工知能)などの技術革新の発達による将来への影響】

- AIの将来への影響について、「影響がある」と回答した高校生は66%、保護者は57%と、高校生のほうが9ポイント高かった。
- 「影響がある」を経年でみると、保護者が18ポイント増加し半数を超えた。
 高校生 2017年:52.0% → 2019年:65.9% +13.9ポイント
 保護者 2017年:38.7% → 2019年:56.5% +17.8ポイント

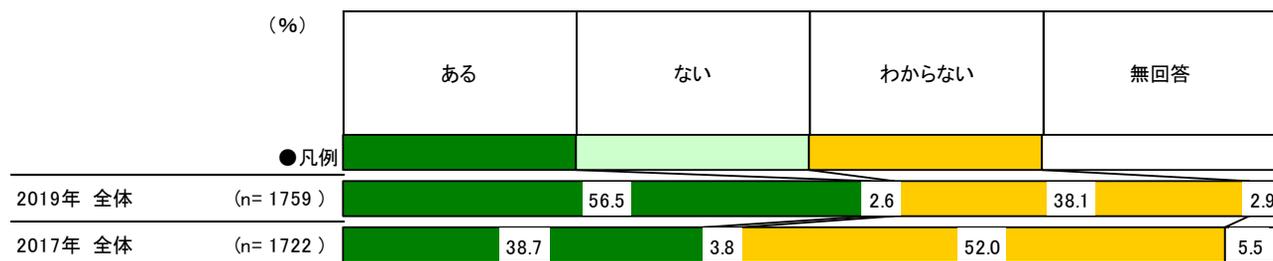
【高校生】時系列 自分の将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)



【高校生】AIが普及していく時代に自分に必要な力について (フリーコメント)

- 「AIでは再現できない能力や技術を用いて新しい物を創造する力。」
- 「AIと共生していく力。AIを利用する力。」
- 「AIを適切に、有効的に利用しつつ、人間の主体性を失わない。」
- 「アイデア力、『答えのない課題』に対する意欲、知識、対応力。」
- 「クリエイティブな発想を生み出す力。」
- 「AIにまさる能力がなくても、人には感情があるから、人と一緒に仕事するうえで人の気持ちを考えて働ける力。」
- 「AIと共に生きていく適応能力。」

【保護者】時系列 子どもの将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)



【保護者】AIが普及していく時代に子どもたちに必要な力について (フリーコメント)

- 「AI(人工知能)が作業をするには人間と違いエラーなど起こさない。完璧な仕上がりは人間より優れている。だが、人間にはAIにはない人間社会で大切なもの“思いやり”を持っている。グローバル化を生きる多様性を重視するそんな力を子どもたちには大事にしてほしい。」
- 「新しい価値や仕事を想像する力。」
- 「人間力と倫理観。」
- 「正しい情報を入手し、自ら判断する力。」
- 「AIと共存する力が必要。」

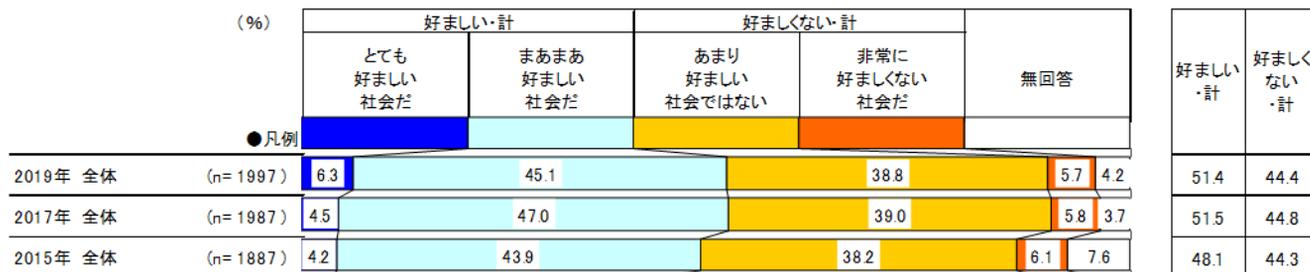
【高校生・保護者：これからの社会は好ましいか】

■ 高校生の51%、保護者の37%が、これからの社会は「好ましい」と回答。

高校生は「好ましい」が「好ましくない」を上回り、半数を超えている。

- ・ 高校生 「好ましい」 (51.4%) > 「好ましくない」 (44.4%)
- ・ 保護者 「好ましい」 (37.1%) < 「好ましくない」 (46.8%)

【高校生】時系列 未来展望：これからの社会は好ましいか（全体／単一回答）



【高校生】

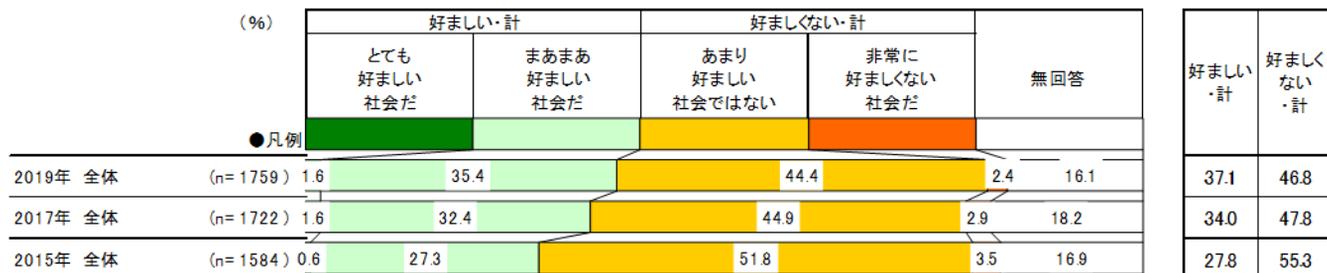
好ましい：

「グローバル化になっていくので、自ら発信していく力が必要であり、多くの人と交流できるから。」
 「働き方改革や男女平等など社会問題に社会全体で取り組んでおり、改善されていくと思うから。」
 「女性も働きやすくなっているから。」 「個性ある人に活躍のチャンスがあるから。」

好ましくない：

「これから A I の時代になり、人手が余り、職につくことができるか不安だから。」
 「SNSなどで大量の情報が飛び交うから、これからどうなっていくのか予想しづらいから。」
 「オリンピックが終わったら景気が良くなる。」 「ブラックな企業が増えているから。」

【保護者】時系列 これからの社会は好ましい社会か（全体／単一回答）



【保護者】

好ましい：

「多様性が認められている社会だから。」 「従来の価値観にとらわれない新しい発想が求められる時代だから」
 「グローバル化で視野を広げていき、語学をはじめ様々な知識を身につけて活かしていける事ができる為。」
 「IT化が進む中、働き方・学び方が多様化、国際化し、選択肢が増えたため。」
 「男女格差の縮小、選択の自由の拡大。」

好ましくない：

「A I の普及や海外からの労働者の増加により、より高度な能力を要求されるようになるから。」
 「SNSやスマホの普及により、様々な場面で色んな問題が起こり、規制が増えていくであろうから。」
 「親の経済力で子供の将来がきまるから。」
 「環境問題や年金問題、また高齢社会になっていく事への問題などすべて先送りになっているので。」

【高校生・保護者：就きたい（就いてほしい）職業】

■ 高校生の「就きたい職業」のトップは「教師」11%。

・男子1位「公務員」 女子1位「看護師」

■ 保護者の「就いてほしい職業」のトップは「公務員」37%。

・子どもの性別：男子1位「公務員」 女子1位「公務員」

【高校生】就きたい職業(自由記入をコーディング/複数回答/就きたい職業があると回答したうち、有効記入があったもの)

全体 (n=1093)	男子 (n= 455)	女子 (n= 601)
1 教師 11.4	1 公務員 15.6	1 看護師 14.6
2 公務員 10.0	2 教師 14.9	2 教師 8.8
3 看護師 9.1	3 建築士・建築関連 10.5	3 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 7.2
4 建築士・建築関連 6.1	4 医師・歯科医師・獣医 7.5	4 公務員 6.2
5 医師・歯科医師・獣医 5.9	5 技術者・研究者 7.3	5 医師・歯科医師・獣医 4.8
6 技術者・研究者 4.3	6 製造業（自動車・造船など） 6.6	6 放射線技師・臨床検査技師 3.8
7 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 4.2	7 エンジニア・プログラマー・IT関連 5.3	7 薬剤師 3.5
8 薬剤師 3.0	8 薬剤師 2.6	8 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 3.3
9 製造業（自動車・造船など） 2.9	9 看護師 2.2	9 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連 2.8
10 放射線技師・臨床検査技師 2.7	9 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 2.2	9 建築士・建築関連 2.8
10 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 2.7	9 会社員 2.2	
10 エンジニア・プログラマー・IT関連 2.7		

その職業に就きたい理由：

- 教師： 「先生達が教えているのが楽しそう。生徒とふれあうのが好き。」（女子）
「あこがれの先生のように子供と成長していける職業だから魅力を感じる。」（女子）
- 公務員： 「仕事が安定するし、休みがちゃんとある。給料も高い。安定している。」（女子）
「安定した収入を得られる。就きたいと小さい頃から思っていたから。」（男子）
- 看護師： 「多くの人と関わることが出来、安定した職業だと思うから。」（女子）
「幼い頃、一度入院した時に色々なお話をしてくれた、看護師さんにあこがれたから。また、医療関係の職に興味があるから。」（女子）

【保護者】就いてほしい職業(自由記入をコーディング/複数回答/就いてほしい職業があると回答したうち、有効記入があったもの)

全体 (n= 182)	子どもの性別：男子 (n= 84)	子どもの性別：女子 (n= 95)
1 公務員 37.4	1 公務員 50.0	1 公務員 27.4
2 看護師 11.5	2 教師 9.5	2 看護師 21.1
3 教師 8.2	3 医師・歯科医師・獣医 6.0	3 医療事務・医療関連 8.4
4 医療事務・医療関連 7.1	4 薬剤師 4.8	4 教師 7.4
5 医師・歯科医師・獣医 5.5	4 医療事務・医療関連 4.8	5 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 5.3
6 薬剤師 4.4	4 技術者・研究者 4.8	5 放射線技師・臨床検査技師 5.3
7 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 3.3	7 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 2.4	7 医師・歯科医師・獣医 4.2
7 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 3.3	7 製造業（自動車・造船など） 2.4	7 薬剤師 4.2
9 放射線技師・臨床検査技師 2.7	7 建築士・建築関連 2.4	7 管理栄養士・栄養士 4.2
9 技術者・研究者 2.7	7 会社員 2.4	7 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 4.2
9 会社員 2.7		

その職業に就いてほしい理由：

- 公務員： 「安定した収入が得られること。福利厚生などが充実している。」
「安定感。女の子なので、将来、結婚、出産等があっても仕事を続ける事ができそう。」
- 看護師： 「結婚・出産で仕事を離れてもまた復帰できる。全国どこにでも病院はあり、大きい病院、小さい病院、夜勤など選択肢もある。歳をとっても長く働ける。」
「高齢化社会で需要がある。資格があれば転職に困らない。やりがいがありそう。」
- 教師： 「A I では変わらない。これから人間性が重要な職であるから。」

※「公務員」は警察・消防・自衛官を含む
※「上位10位まで」を掲載

九州女子大学

令和5（2023）年度新設3学科
家政学部 「生活デザイン学科（仮称）」
人間科学部 「児童・幼児教育学科（仮称）」
人間科学部 「心理・文化学科（仮称）」

学生確保の見通し調査
(設置構想についての高校生アンケート調査)

報告書

令和4（2022）年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 設置構想についての高校生アンケート調査の概要	2
2. 質問項目の集計結果	3
3. 集計結果のポイント	6
<hr/> 学生確保の見通し調査結果 まとめ	11
<hr/> 添 付 資 料	12

1. 設置構想についての高校生アンケート調査の概要

調査目的	九州女子大学が令和5（2023）年度4月に設置構想中の以下の3学科について、学生確保の見通しについて検証するために高校生アンケート調査を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 家政学部 「生活デザイン学科（仮称）」（入学定員：60名） ■ 人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」（入学定員：100名） ■ 人間科学部「心理・文化学科（仮称）」（入学定員：90名）
調査時期	令和3（2021）年11月～令和4（2022）年1月
調査対象	令和3年度現在の高校2年生女子（新学科設置時に大学進学時期を迎える者）
調査内容	選択式の7問。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 回答者の基本情報（性別、居住地、希望進路、関心のある学問分野） ■ 設置構想中の新学科への受験・入学意向、もしくは受験しないを選択した理由
有効回答件数	3,650件（回収件数：5,714件） ※問1で「女性」と回答した者のみを集計対象とした。 ※実施校の内訳は下表の通り

◆実施校の内訳表

都道府県	公立	私立	小計
山口県	3	1	4
福岡県	28	8	36
佐賀県	1	1	2
長崎県	0	1	1
熊本県	4	1	5
大分県	3	3	6
宮崎県	0	1	1
鹿児島県	1	1	2
沖縄県	1	0	1
総計	41	17	58

2. 質問項目の集計結果

※本調査結果は、問1で「女性」と回答した者のみ取り扱っている。そのため、問1は掲載していない。

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
九州女子大学 令和5（2023）年度新設3学科（家政学部「生活デザイン学科（仮称）」人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」人間科学部「心理・文化学科（仮称）」 設置構想についての高校生アンケート調査	3,650件

問2 あなたがお住まいの県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	福岡県	2,554	70.0%
2	佐賀県	142	3.9%
3	熊本県	145	4.0%
4	大分県	283	7.8%
5	宮崎県	36	1.0%
6	鹿児島県	183	5.0%
7	沖縄県	45	1.2%
8	山口県	241	6.6%
9	その他	18	0.5%
	無回答	3	0.1%
合計		3,650	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

選択項目		回答数	構成比
1	進学	3,135	85.9%
2	就職	262	7.2%
3	現時点では未定	248	6.8%
	無回答	5	0.1%
合計		3,650	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるもの3つまでマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、回答者 3,650 人のうち、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	人文科学(心理学、文学、史学、哲学、外国語学など)	1,121	30.7%
2	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	634	17.4%
3	教育学・保育学	972	26.6%
4	社会科学(法学・政治学、経営学、経済学、社会学など)	622	17.0%
5	理学・工学(物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、建築学など)	253	6.9%
6	農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)	178	4.9%
7	医学・歯学・薬学	509	13.9%
8	保健衛生学(看護学、リハビリテーション医学など)	898	24.6%
9	芸術学(音楽、デザイン、美術など)	848	23.2%
10	その他	535	14.7%

問5 あなたは九州女子大学が令和5(2023)年度に設置予定の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	家政学部「生活デザイン学科(仮称)」を受験したい	153	4.2%
2	人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」を受験したい	236	6.5%
3	人間科学部「心理・文化学科(仮称)」を受験したい	211	5.8%
4	いずれの学科も受験したいと思わない	2,976	81.5%
	無回答	74	2.0%
合計		3,650	100.0%

問6は、問5で「受験したい」と回答した 600 人が回答対象である。

問6 あなたは問5で「受験したい」とした九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	283	47.2%
2	合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	310	51.7%
	無回答	7	1.2%
合計		600	100.0%

問7は、問5で「受験しない」と回答した2,976人が回答対象である。

問7 あなたが九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、回答対象者2,976人のうち、各項目を挙げた者の割合

	選択項目	回答数	回答率
1	九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	83	2.8%
2	九州女子大学の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	75	2.5%
3	九州女子大学の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	79	2.7%
4	興味・関心のある学科ではないから	1,103	37.1%
5	国公立大学への進学を希望しているから	654	22.0%
6	他の私立大学への進学を希望しているから	566	19.0%
7	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	746	25.1%
8	就職を希望しているから	209	7.0%
9	進路は未定だから	292	9.8%
10	通学に時間がかかりそうだから	158	5.3%
11	学費が高いから	184	6.2%
12	その他	59	2.0%

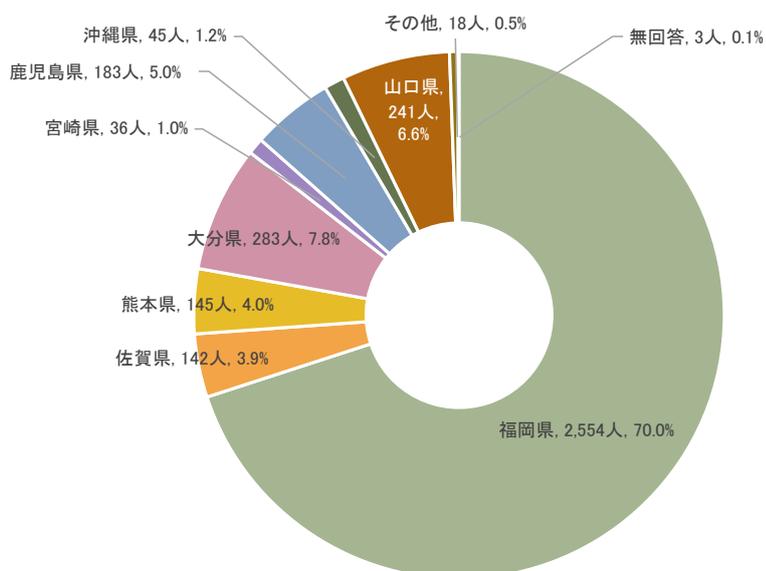
3. 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

① 回答者の基本情報

本アンケート調査の回答者（3,650人）は、全て令和3（2021）年度における高校2年生かつ女性である（事前に性別無回答、または「男性」とした回答アンケートはすべて除外）。回答者の居住地については全体の70.0%にあたる2,554人が「福岡県」、次いで大分県を含む九州各県、山口県などであった。福岡県北九州市にキャンパスを置く九州女子大学は福岡県を始めとする九州地方ならびに西で隣接する山口県を学生確保の基盤としており、本アンケートの対象者として適切であるといえる。

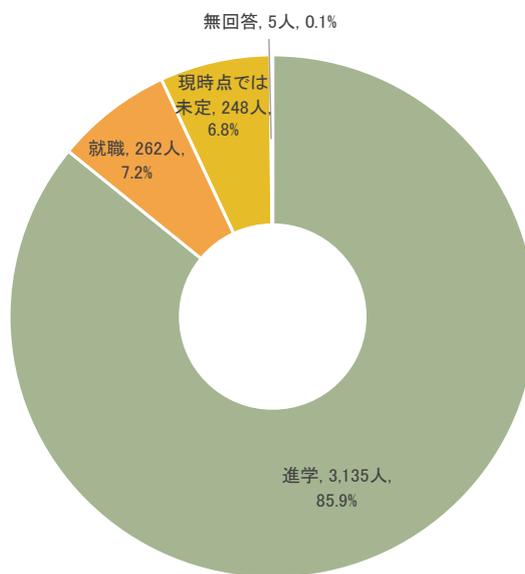
グラフ1



② 8割以上の回答者が、高校卒業後に「進学」を希望

現時点での高校卒業後の希望する進路先について質問したところ、回答者の85.9%にあたる3,135人が「進学」と回答した。次いで、「就職」が262人(7.2%)、「現時点では未定」が248人(6.8%)の順であった。

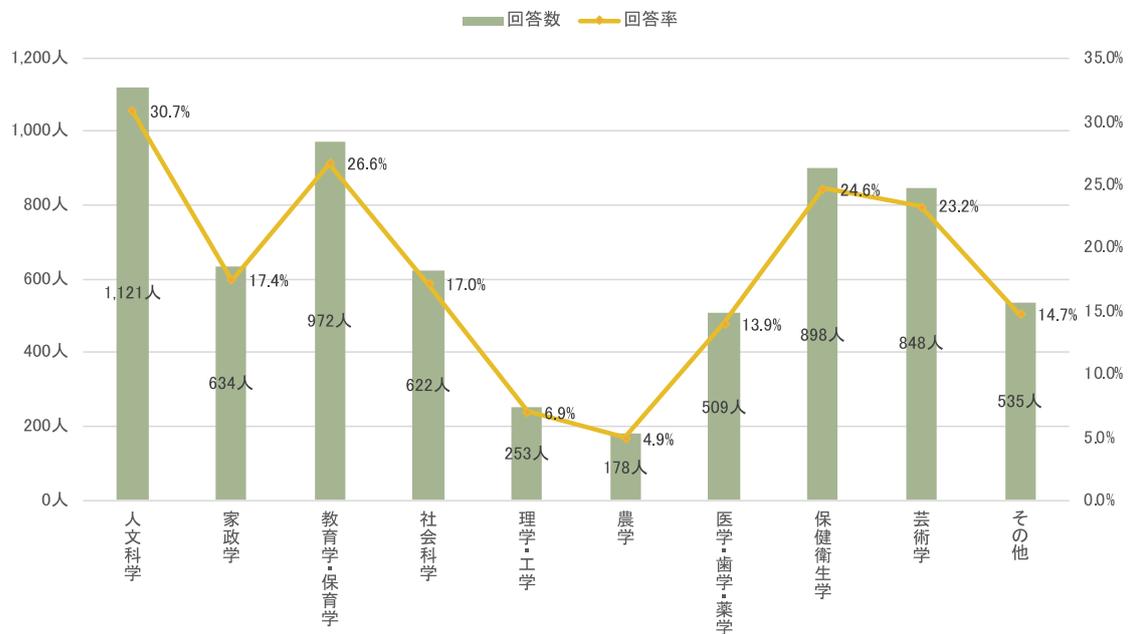
グラフ2



③ 「人文科学」に興味を持つ者が最多、「教育学・保育学」が2番目、「家政学」が5番目

関心のある学問分野について質問したところ、「生活デザイン学科（仮称）」に関連する「家政学」は634人（全体の17.4%）、「児童・幼児教育学科（仮称）」に関連する「教育学・保育学」は972人（26.6%）、「心理・文化学科（仮称）」に関連する「人文科学」は1,121人（30.7%）がそれぞれ回答した。「人文科学」に興味・関心を持つ回答者が最も多く、次いで「教育学・保育学」という順で、「家政学」も全体では5番目に多かった。

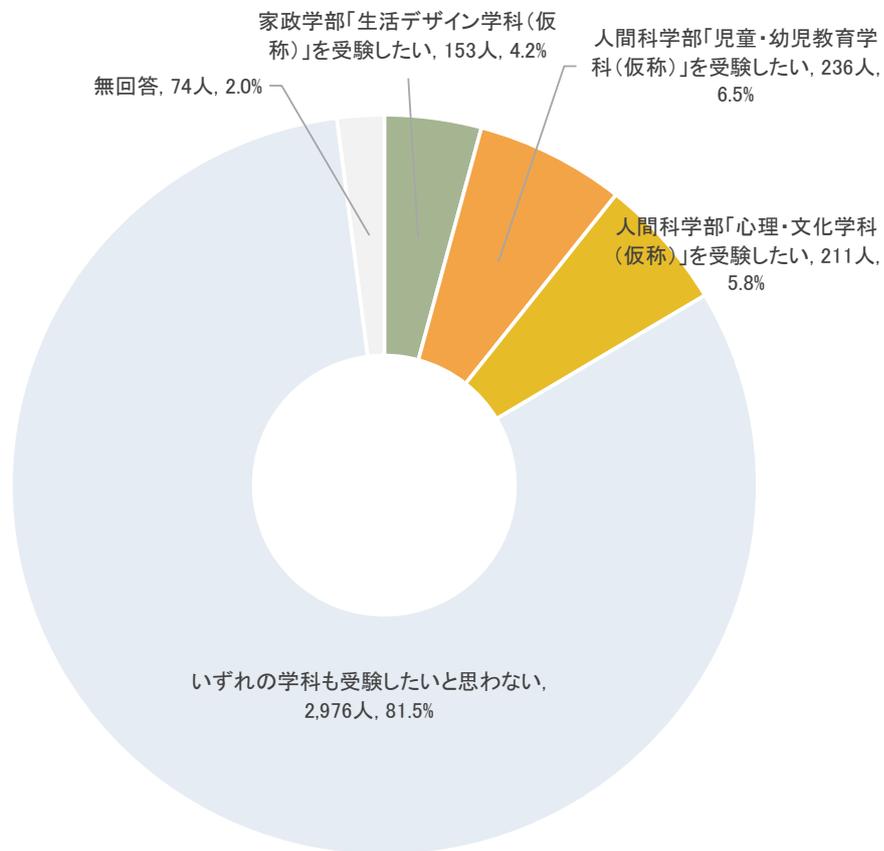
グラフ3



④ 新設 3 学科の受験意向について

令和 5 (2023) 年度に設置予定の新設 3 学科の受験意向について質問したところ、「受験したい」と受験意志を示したのは、家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が 153 人(全体の 4.2%)、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が 236 人(6.5%)、また、心理・文化学科(仮称)が 211 人(5.8%)であった。

グラフ4



⑤ 新設3学科への入学意向について

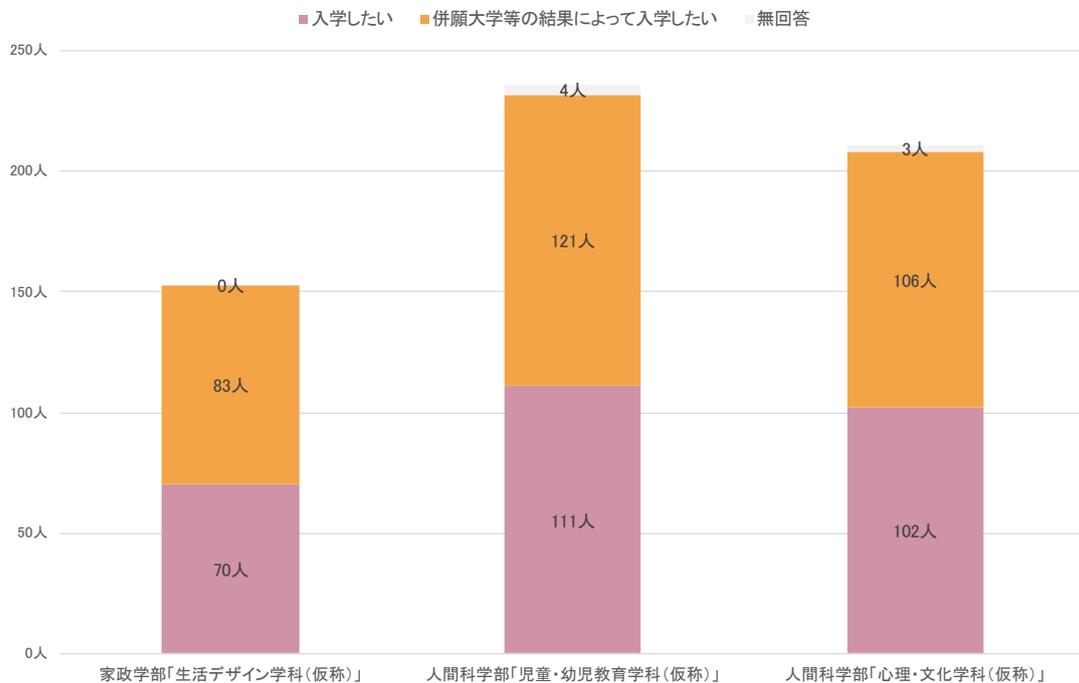
九州女子大学が令和5（2023）年度に設置予定の3学科のいずれかに対し、問5で「受験したい」と回答した者に問6で入学意志について質問した。クロス集計の結果より、家政学部「生活デザイン学科（仮称）」を「合格した場合、入学したい」と回答したのが70人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答したのが83人であった。

人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」を「合格した場合、入学したい」と回答したのが111人、「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」と回答したのが121人であった。

人間科学部「心理・文化学科（仮称）」を「合格した場合、入学したい」と回答したのが102人、「合格した場合、併願大学等の結果によっては入学したい」と回答したのが106人であった。

以上の結果は、九州女子大学が予定する各学科の入学定員を大きく上回った結果であった。

グラフ5



学生確保の見通し調査結果 まとめ

九州女子大学が令和 5（2023）年度に設置予定の家政学部「生活デザイン学科（仮称）」人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」人間科学部「心理・文化学科（仮称）」の学生確保の見通しについて検証を行うため、九州女子大学が学生確保の基盤する福岡県を九州地方ならびに山口県の高校にアンケート調査実施を依頼した。

結果 58 校からご協力をいただき、2 年生女子（令和 5 年度に大学進学時期を迎える者）の合計 3,650 人からアンケート調査の回答を得た。

新設 3 学科の概要を示した上で受験・入学意向についての回答を求めた結果、問 5 で「受験したい」かつ問 6 で「合格した場合、入学したい」と回答したのは、家政学部「生活デザイン学科（仮称）」（入学定員 60 名予定）が 70 人、人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」（入学定員 100 名予定）が 111 人、人間科学部「心理・文化学科（仮称）」（入学定員 90 名予定）が 102 人であった。

「合格した場合、入学したい」と強い入学意志を示した者だけでも、各学科が予定する入学定員を上回る結果となった。「合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい」を含めると、本アンケート調査の結果のみでもいずれの新設 3 学科すべてで入学定員の 2 倍以上の受験者が見込める結果が得られた。

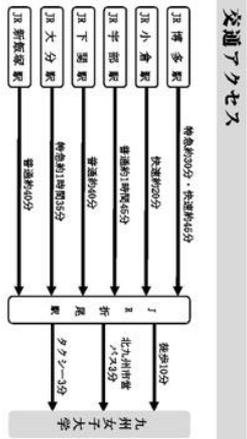
したがって、九州女子大学が令和 5（2023）年度に設置構想中である家政学部「生活デザイン学科（仮称）」、人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」、人間科学部「心理・文化学科（仮称）」はいずれも学生確保の見通しについて入学定員充足の見通しがあると推察さえる。

以上

添 付 資 料

- 資料1 九州女子大学 令和5年度新設3学科概要
- 資料2 設置構想についての高校生アンケート調査用紙

資料1 九州女子大学 令和5年度新設3学科概要



学費 (他大学含む)

大学名	学部名	学科名	所在地	入学金	授業料、施設費等	初年度合計
九州女子大学	家政学部	生活デザイン学科(仮称)	北九州府八幡宮区	280,000	904,000	1,184,000
		生活デザイン学科	福岡市	290,000	967,000	1,257,000
近畿女子大学	健康生活学部	生活デザイン学科	福岡市	290,000	967,000	1,257,000
		生活デザイン学科	福岡市宮地原区	90,000	1,140,000	1,230,000
愛田女子大学	家政学部	生活デザイン学科	福岡市宮地原区	90,000	1,140,000	1,230,000
		生活デザイン学科	福岡市宮地原区	90,000	1,140,000	1,230,000
九州女子大学	人間科学部	児童福祉教育学科(仮称)	北九州府八幡宮区	290,000	940,000	1,230,000
		児童福祉教育学科	福岡市城南区	290,000	1,050,000	1,320,000
中村学園大学	教育学部	児童福祉教育学科	福岡市城南区	290,000	1,050,000	1,320,000
		児童福祉教育学科	福岡市城南区	210,000	975,000	1,185,000
福岡女子学院大学	人間科学部	子ども発達学科	福岡市城南区	210,000	975,000	1,185,000
		子ども発達学科	福岡市城南区	210,000	975,000	1,185,000
九州女子大学	人間科学部	心理学科	所在地	入学金	授業料、施設費等	初年度合計
		心理文化学科(仮称)	北九州府八幡宮区	290,000	940,000	1,230,000
福岡女子学院大学	人間健康学部	心理学科	福岡市城南区	210,000	975,000	1,185,000
		看護学科/日本文学科	福岡市宮地原区	90,000	1,100,000	1,190,000
愛田女子大学	文部部	看護学科/日本文学科	福岡市宮地原区	90,000	1,100,000	1,190,000
		看護学科/日本文学科	福岡市宮地原区	90,000	1,100,000	1,190,000

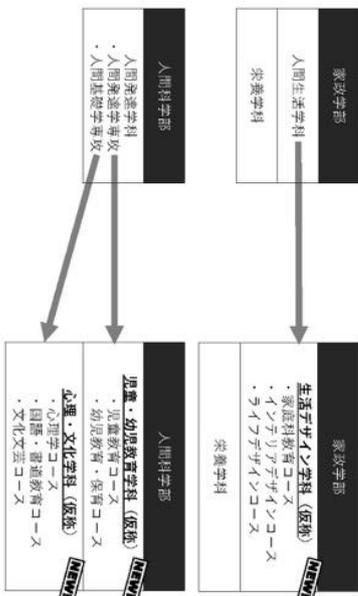
- ◆九州女子大学が設置構想中の各学科の学費は予定のものです。
- ◆他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(令和3(2021)年9月10日時点)。
- ◆いずれの大学の学費も諸学費(委託課収受費)を含みません。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる免許・資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

令和5(2023)年4月、
九州女子大学
が生まれ変わります。

令和3(2021)年度現在

令和5(2023)年度予定



この「概要」をご覧の上、
別紙・高校生アンケート調査にご回答ください。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる免許・資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

資料2 設置構想についての高校生アンケート調査用紙



九州女子大学

家政学部「生活デザイン学科(仮称・設置構想中)」
人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称・設置構想中)」
人間科学部「心理・文化学科(仮称・設置構想中)」

設置構想についての高校生アンケート調査 (対象：2021年度現在、高校2年生の皆さん)

九州女子大学は令和5(2023)年度に学部学科の改組を行い、家政学部に「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部に「児童・幼児教育学科(仮称)」「心理・文化学科(仮称)」の設置を構想中です。九州女子大学ではこのアンケート調査を通して、令和5(2023)年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからご意見をお聞きし、設置構想の参考とさせていただきますと考えています。ご回答いただいた皆さんから得られた情報は九州女子大学の学部学科構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は九州女子大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。



問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

女性 男性

問2 あなたがお住まいの県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 山口県 その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

進学 就職 現時点では未定

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるもの3つまでマーク)

人文科学(心理学、文学、史学、哲学、外国語学など) 家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)
 教育学・保育学 社会科学(法学・政治学、経営学、経済学、社会学など)
 理学・工学(物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、建築学など)
 農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など) 医学・歯学・薬学
 保健衛生学(看護学、リハビリテーション医学など) 芸術学(音楽、デザイン、美術など)
 その他



1

本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問5以降は別紙、九州女子大学 令和5(2023)年度の学部・学科の概要をご覧の上で、女子の方のみお答えください。

問5 あなたは九州女子大学が令和5(2023)年度に設置予定の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 家政学部「生活デザイン学科(仮称)」を受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
- 人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」を受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
- 人間科学部「心理・文化学科(仮称)」を受験したい ⇒ 以下の問6にお答えください。
- いずれの学科も受験したいと思わない ⇒ 以下の問7にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6にお答えください。

問6 あなたは問5で「受験したい」とした九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問9にお答えください。

問7 あなたが九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」または「心理・文化学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 九州女子大学の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 九州女子大学の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 九州女子大学の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 興味・関心のある学科ではないから
- 国公立大学への進学を希望しているから
- 他の私立大学への進学を希望しているから
- 短期大学・専門学校への進学を希望しているから
- 就職を希望しているから
- 進路は未定だから
- 通学に時間がかかりそうだから
- 学費が高いから
- その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



九州女子大学

令和5（2023）年度新設3学科
家政学部 「生活デザイン学科（仮称）」
人間科学部 「児童・幼児教育学科（仮称）」
人間科学部 「心理・文化学科（仮称）」

人材需要の見通し調査
(設置構想についての人材需要アンケート調査)

報告書

令和4（2022）年2月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 設置構想についての人材需要アンケート調査の概要	2
2. 質問項目の集計結果	3
3. 集計結果のポイント	8
<u>人材需要の見通し調査結果 まとめ</u>	<u>16</u>
<u>添 付 資 料</u>	<u>17</u>

1. 設置構想についての人材需要アンケート調査の概要

調査目的	<p>九州女子大学が令和5（2023）年度4月に設置構想中の以下の3学科について、人材需要の見通しについて検証するために企業等を対象とした人材需要アンケート調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 家政学部 「生活デザイン学科（仮称）」（入学定員：60名） ■ 人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」（入学定員：100名） ■ 人間科学部「心理・文化学科（仮称）」（入学定員：90名）
調査時期	令和4（2022）年1月～2月
調査対象	<p>九州女子大学の新設3学科卒業生の採用が見込まれる以下の企業・団体等 合計1,049箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 福岡県が本社または福岡県に拠点をもつ企業 643箇所 ■ 福岡県内の社会福祉協議会 76箇所 ■ 九州地方の地方自治体（県市長、町村役場） 282箇所 ■ 九州地方の主要美術館・博物館 48箇所
調査内容	<p>全13設問。12問が選択式、1問が記述。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 回答企業・団体の基本情報（主業種、従業員・職員数、所在地） ■ 設置構想中の新学科の社会的ニーズ、卒業生の採用意向 ■ 設置構想中の新学科に期待する点、ご要望等
有効回答件数	280件（回収率26.0%）

2. 質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
九州女子大学 令和5（2023）年度新設3学科（家政学部「生活デザイン学科（仮称）」人間科学部「児童・幼児教育学科（仮称）」人間科学部「心理・文化学科（仮称）」 設置構想についての人材需要アンケート調査	280件

問1 貴社・貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1 農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
2 建設業	15	5.4%
3 製造業	2	0.7%
4 電気、ガス、熱供給、水道業	1	0.4%
5 通信業	2	0.7%
6 放送業、情報サービス業	4	1.4%
7 インターネット付随サービス業	3	1.1%
8 映像・音声・文字情報制作業	0	0.0%
9 運輸業、郵便業	1	0.4%
10 卸売業	5	1.8%
11 小売業	14	5.0%
12 金融業・保険業	9	3.2%
13 不動産業、物品賃貸業	3	1.1%
14 学術研究、専門・技術サービス業	12	4.3%
15 宿泊業、飲食サービス業	4	1.4%
16 生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
17 教育、学習支援業	10	3.6%
18 医療、福祉	24	8.6%
19 複合サービス事業	0	0.0%
20 その他のサービス	18	6.4%
21 公務	147	52.5%
22 その他	5	1.8%
無回答	1	0.4%
合計	280	100.0%

問2 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	～99 人	82	29.3%
2	100～299 人	86	30.7%
3	300～499 人	42	15.0%
4	500～999 人	40	14.3%
5	1,000～2,999 人	16	5.7%
6	3,000～9,999 人	10	3.6%
7	10,000 人～	3	1.1%
	無回答	1	0.4%
合計		280	100.0%

問3 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	福岡県	144	51.4%
2	佐賀県	6	2.1%
3	長崎県	15	5.4%
4	熊本県	26	9.3%
5	大分県	12	4.3%
6	宮崎県	12	4.3%
7	鹿児島県	32	11.4%
8	沖縄県	20	7.1%
9	その他	13	4.6%
	無回答	0	0.0%
合計		280	100.0%

家政学部「生活デザイン学科(仮称)」について

問4

九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	9	3.2%
2	ニーズはある程度高い	131	46.8%
3	ニーズはあまりない	35	12.5%
4	ニーズは全くない	9	3.2%
5	わからない	95	33.9%
	無回答	1	0.4%
合計		280	100.0%

問5

九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	45	16.1%
2	採用しない	33	11.8%
3	わからない	200	71.4%
	無回答	2	0.7%
合計		280	100.0%

問6は、問5で「採用したい」と回答した 45 件が回答対象である。

問6

九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	21	21人
2	2名	11	22人
3	3名	7	21人
4	4名	0	0人
5	5名	2	10人
6	6名以上	2	12人
	無回答	2	0人
合計		45	86人

人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」について

問7 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	66	23.6%
2	ニーズはある程度高い	159	56.8%
3	ニーズはあまりない	13	4.6%
4	ニーズは全くない	7	2.5%
5	わからない	34	12.1%
	無回答	1	0.4%
合計		280	100.0%

問8 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	48	17.1%
2	採用しない	34	12.1%
3	わからない	196	70.0%
	無回答	2	0.7%
合計		280	100.0%

問9は、問8で「採用したい」と回答した48件が回答対象である。

問9 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	35	35人
2	2名	5	10人
3	3名	3	9人
4	4名	0	0人
5	5名	1	5人
6	6名以上	1	6人
	無回答	3	0人
合計		48	65人

人間科学部「心理・文化学科(仮称)」について

問10 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	23	8.2%
2	ニーズはある程度高い	153	54.6%
3	ニーズはあまりない	26	9.3%
4	ニーズは全くない	5	1.8%
5	わからない	72	25.7%
	無回答	1	0.4%
合計		280	100.0%

問11 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	35	12.5%
2	採用しない	30	10.7%
3	わからない	212	75.7%
	無回答	3	1.1%
合計		280	100.0%

問12は、問11で「採用したい」と回答した35件が回答対象である。

問12 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	人数合計
1	1名	28	28人
2	2名	2	4人
3	3名	2	6人
4	4名	0	0人
5	5名	0	0人
6	6名以上	1	6人
	無回答	2	0人
合計		35	44人

3. 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

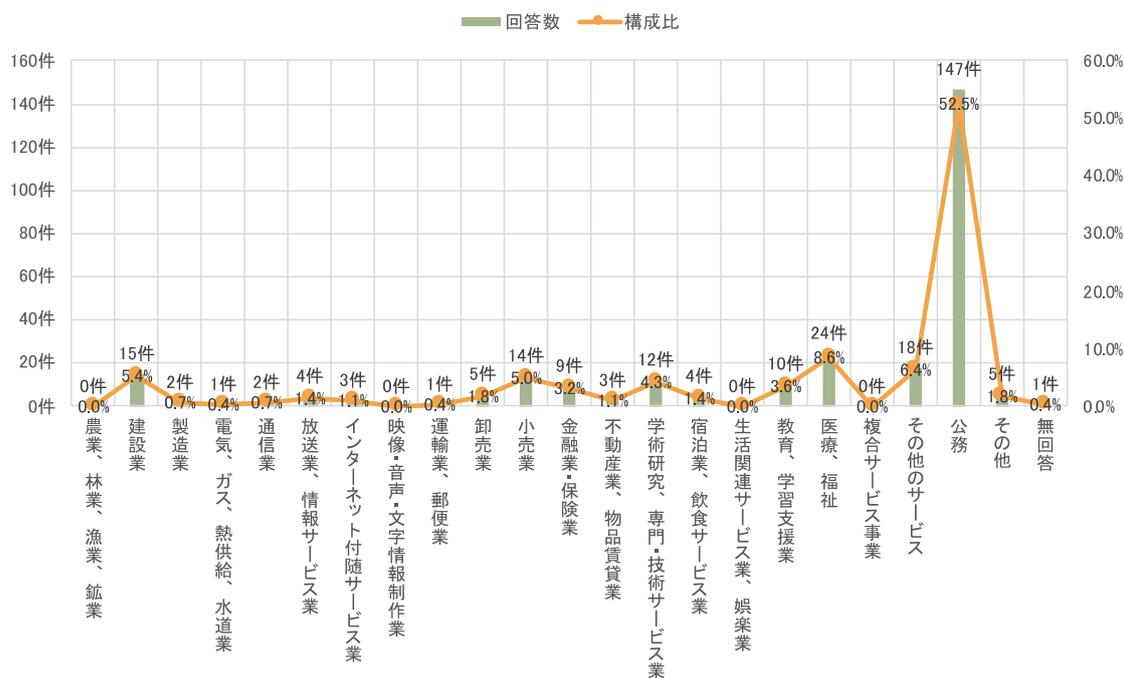
① 回答企業・団体の基本情報

アンケート回答企業・団体の約半数 147 件（全体の 52.5%）が「公務」、次いで 24 件（8.6%）が「医療福祉」、以上 2 業種や「その他」を含めて合計 18 の幅広い業種から回答が得られた。〈グラフ 1〉

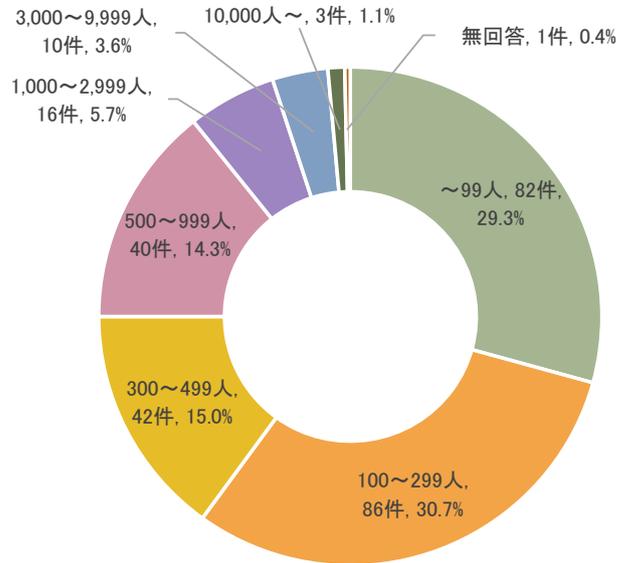
従業員・職員数で一番多かった回答は「100～299 人」で、86 件（30.7%）であった。次いで、「～99 人」が 82 件（29.3%）であった。〈グラフ 2〉

また、アンケート回答企業・機関の 51.4%にあたる 144 件が、九州女子大学がある「福岡県」に所在しており、福岡県を除く九州地方が計 103 件（36.8%）、「沖縄県」が 20 件（7.1%）、「その他」が 13 件（4.6%）であった。〈グラフ 3〉

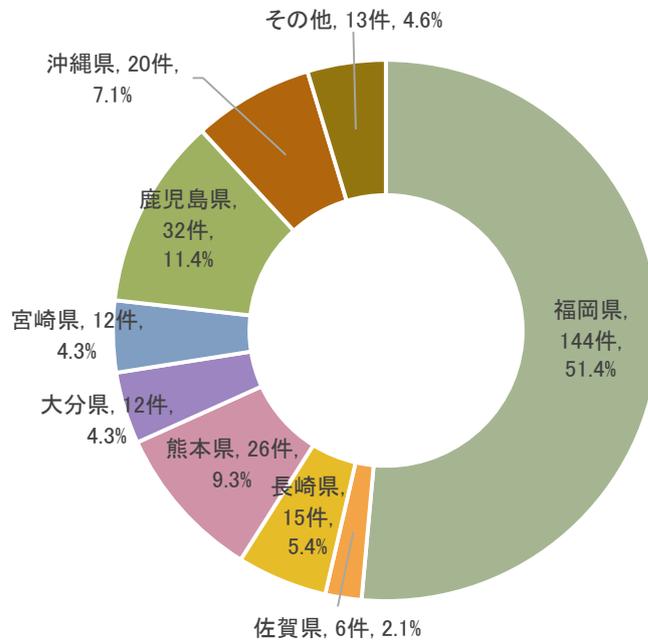
グラフ1



グラフ2



グラフ3

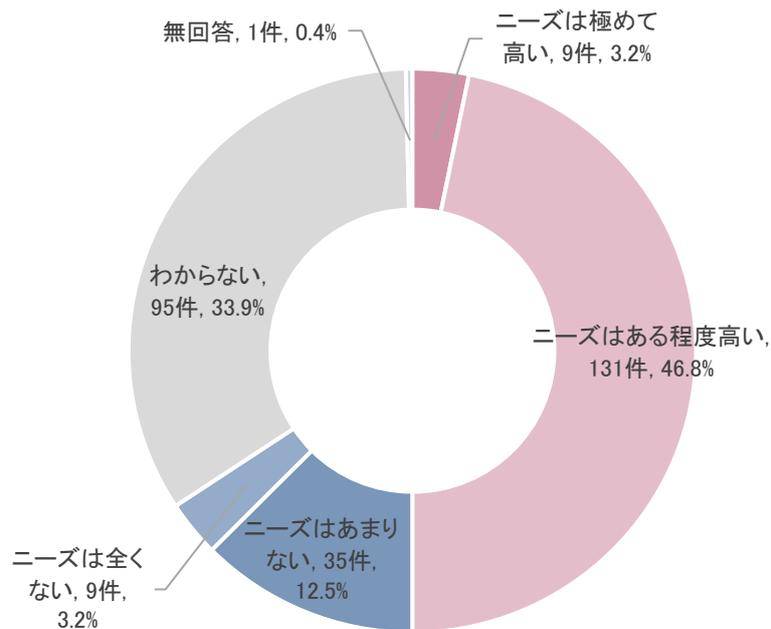


② 家政学部「生活デザイン学科(仮称)」について

家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材の社会的なニーズを質問したところ、「ニーズは極めて高い」が9件(3.2%)、「ニーズはある程度高い」が131件(46.8%)であった。回答企業・団体の半数140件が、家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。〈グラフ4〉

家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材の採用意向について質問したところ、「採用したい」が45件(16.1%)であった。さらに、その45件に対し採用可能と思われる人数について質問したところ、合計86人であった。〈グラフ5・表1〉

グラフ4



グラフ5

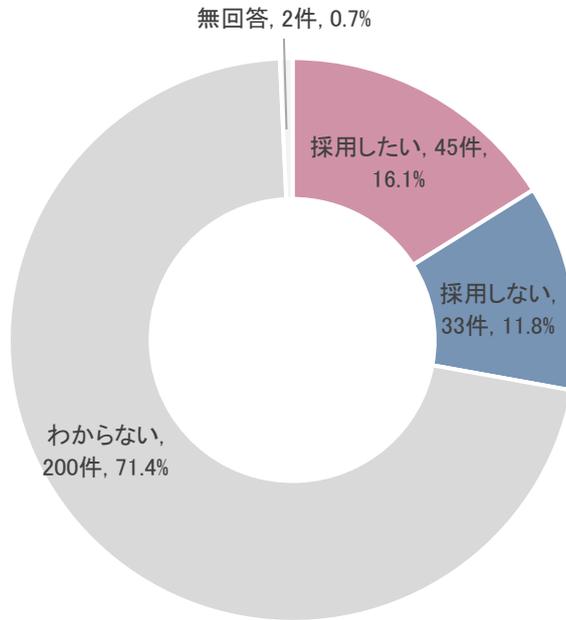


表1

選択項目	回答件数	採用可能人数
1名	21件	21人
2名	11件	22人
3名	7件	21人
4名	0件	0人
5名	2件	10人
6名以上	2件	12人
無回答	2件	0人
合計	45件	86人

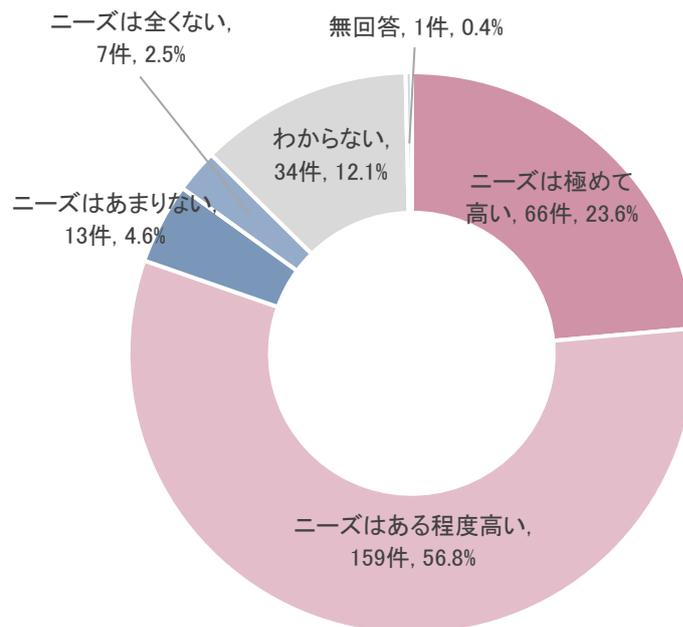
※採用可能人数は、回答件数に人数を乗じたもの

③ 人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」について

人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材の社会的なニーズを質問したところ、「ニーズは極めて高い」が66件(23.6%)、「ニーズはある程度高い」が159件(56.8%)であった。回答企業・団体の8割以上にあたる225件が、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。〈グラフ6〉

人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材の採用意向について質問したところ、「採用したい」が48件(17.1%)であった。さらに、その48件に対し採用可能と思われる人数について質問したところ、合計65人であった。〈グラフ7・表2〉

グラフ6



グラフ

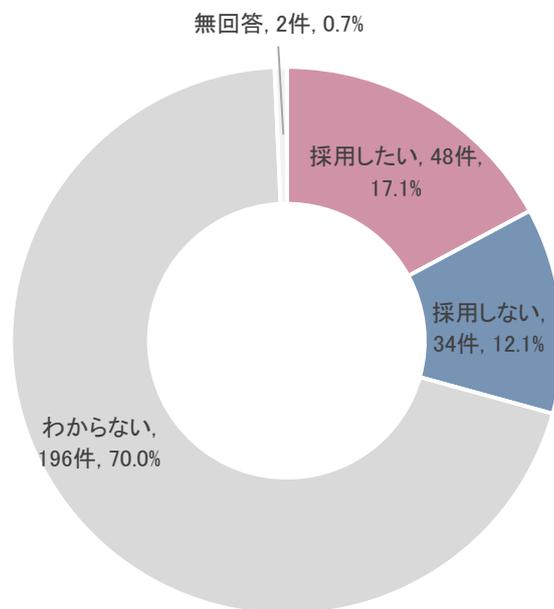


表2

選択項目	回答件数	採用可能人数
1名	35件	35人
2名	5件	10人
3名	3件	9人
4名	0件	0人
5名	1件	5人
6名以上	1件	6人
無回答	3件	0人
合計	48件	65人

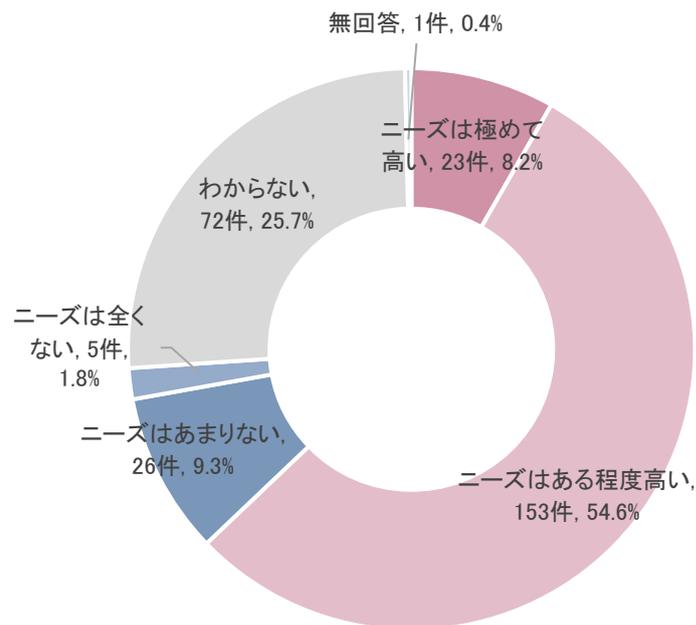
※採用可能人数は、回答件数に人数を乗じたもの

④ 人間科学部「心理・文化学科(仮称)」について

人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材の社会的なニーズを質問したところ、「ニーズは極めて高い」が23件(8.2%)、「ニーズはある程度高い」が153件(54.6%)であった。回答企業・機関の6割以上にあたる176件が、人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材の社会的ニーズの高さを認める結果となった。〈グラフ7〉

人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材の採用意向について質問したところ、「採用したい」が35件(12.5%)であった。さらに、その35件に対し採用可能と思われる人数について質問したところ、合計44人であった。〈グラフ8・表3〉

グラフ7



グラフ8

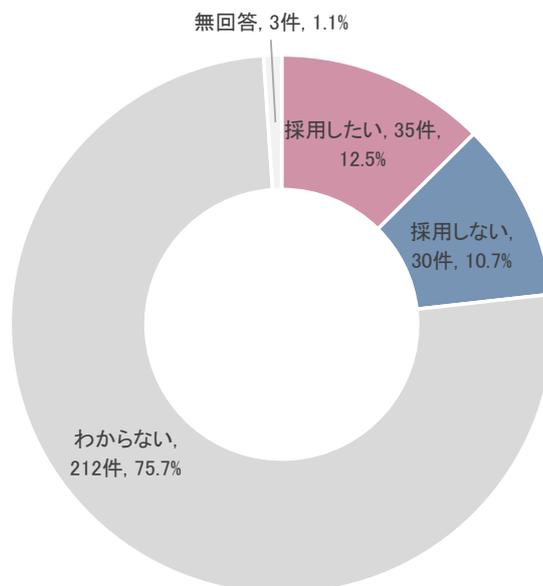


表3

選択項目	回答件数	採用可能人数
1名	28件	28人
2名	2件	4人
3名	2件	6人
4名	0件	0人
5名	0件	0人
6名以上	1件	6人
無回答	2件	0人
合計	35件	44人

※採用可能人数は、回答件数に人数を乗じたもの

人材需要の見通し調査結果 まとめ

九州女子大学が令和5(2023)年度に設置予定の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」、人間科学部「心理・文化学科(仮称)」の人材需要の見通しを検証するため、福岡県に本社・拠点を置く企業や九州地方の地方自治体・団体等に人材需要アンケート調査回答を依頼し、合計280箇所から回答を得た。

各新設学科の概要を示した上で、各学科の社会的ニーズ、卒業生の採用意向、また、採用意志を示した回答企業・機関に対し、採用可能と思われる人数について質問したところ、「採用したい」と回答したのは、家政学部「生活デザイン学科(仮称)」(入学定員60名予定)が45件(採用可能人数86人)、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」(入学定員100名予定)が48件(採用可能人数65人)、人間科学部「心理・文化学科(仮称)」(入学定員90名予定)が35件(採用可能人数:44人)であった。

家政学部「生活デザイン学科(仮称)」は、「採用したい」と回答した企業・機関数が、予定する入学定員を超える結果となった。

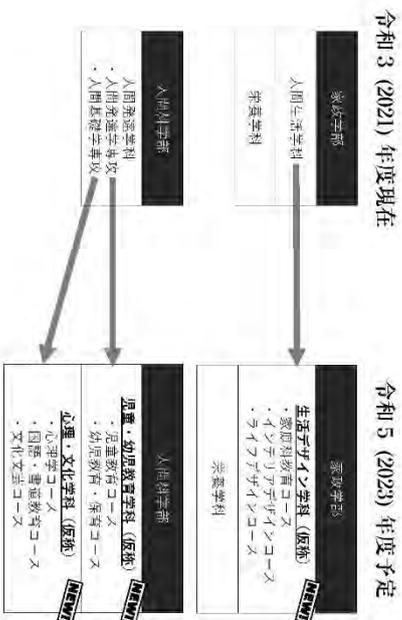
なお、人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」については幼稚園・保育所、人間科学部「心理・文化学科(仮称)」については医療機関・福祉施設ならびに矯正施設等を対象としたアンケート調査を別途行い、各学科が養成する専門職としての人材需要について検証を行っている。

以上

添 付 資 料

- 資料1 九州女子大学 令和5年度新設3学科概要
- 資料2 設置構想についての人材需要アンケート調査用紙

令和5(2023)年4月、 九州女子大学 が生まれ変わります。



この「概要」をご覧の上、
別紙・人材需要アンケート調査にご回答ください。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる免許・資格、内容などは変更となる場合があります。

資料2 設置構想についての人材需要アンケート調査用紙



九州女子大学

家政学部「生活デザイン学科(仮称・設置構想中)」
人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称・設置構想中)」
人間科学部「心理・文化学科(仮称・設置構想中)」

設置構想についての人材需要アンケート調査 (対象：人事採用担当者様)

九州女子大学は令和5(2023)年度に学部学科の改組を行い、家政学部に「生活デザイン学科(仮称)」、人間科学部に「児童・幼児教育学科(仮称)」「心理・文化学科(仮称)」の設置を構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実に努めていきたいと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は九州女子大学の新学科設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は九州女子大学から委託された第三者機関(株式会社尚等教育総合研究所)が実施しています。

【記入例】  

- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 貴社・貴機関の主要種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業 | <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 製造業 |
| <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業 | <input type="radio"/> 通信業 | <input type="radio"/> 放送業、情報サービス業 |
| <input type="radio"/> インターネット付随サービス業 | <input type="radio"/> 映像・音声・文字情報制作業 | <input type="radio"/> 運輸業、郵便業 |
| <input type="radio"/> 卸売業 | <input type="radio"/> 小売業 | <input type="radio"/> 金融業・保険業 |
| <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業 | <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業 |
| <input type="radio"/> 生活関連サービス業、娯楽業 | <input type="radio"/> 教育、学習支援業 | <input type="radio"/> 医療、福祉 |
| <input type="radio"/> 複合サービス事業 | <input type="radio"/> その他のサービス | <input type="radio"/> 公務 |
| <input type="radio"/> その他 | | |

問2 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> ~99人 | <input type="radio"/> 100~299人 | <input type="radio"/> 300~499人 | <input type="radio"/> 500~999人 | <input type="radio"/> 1,000~2,999人 |
| <input type="radio"/> 3,000~9,999人 | <input type="radio"/> 10,000人~ | | | |

問3 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- | | | |
|----------------------------|---------------------------|--|
| <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 |
| <input type="radio"/> 鹿児島県 | <input type="radio"/> 沖縄県 | <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |



本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。



問4以降は別紙「九州女子大学 令和5年度設置予定の新学科概要」をご覧ください、お答えください。

<家政学部「生活デザイン学科(仮称)」について>

問4 九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い ニーズはあまりない ニーズは全くない
 わからない

問5 九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい 採用しない わからない

問6 <問5で「採用したい」とされた場合、お答えください> 九州女子大学が設置構想中の家政学部「生活デザイン学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名 2名 3名 4名 5名
 6名以上(ご支障なければ人数をご記入ください)

<人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」について>

問7 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い ニーズはあまりない ニーズは全くない
 わからない

問8 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい 採用しない わからない

問9 <問8で「採用したい」とされた場合、お答えください> 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「児童・幼児教育学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名 2名 3名 4名 5名
 6名以上(ご支障なければ人数をご記入ください)

<人間科学部「心理・文化学科(仮称)」について>





問10 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い ニーズはあまりない ニーズは全くない
 わからない

問11 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい 採用しない わからない

問12 <問11で「採用したい」とされた場合、お答えください> 九州女子大学が設置構想中の人間科学部「心理・文化学科(仮称)」が養成する人材について、よろしければ採用可能な人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名 2名 3名 4名 5名
 6名以上(ご支障なければ人数をご記入ください)

問13 九州女子大学が設置構想中の新学部・学科について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。特定学部・学科についてコメントいただく場合、お手数ですが最初に「〇〇学部について」「〇〇学科について」とご記入いただければ幸いです。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。

